

II－1 計画編（一方向出入口）

1－1 エレベータの仕様、台数の選定

- エレベータの仕様、設置台数は、ビルの規模、用途、立地条件に応じて十分な輸送能力と効率良いサービスができるように選択することが大切です。
- ビルの設置条件に合った、最適なプランをご提案させていただきます。ご計画の際には、当社にご相談ください。

エレベータ配置計画上のご注意

- 停止階が不揃いの場合は、サービスが低下する場合があります。
- エレベータが対向配置となる場合は、ホールの広さを十分にとってください。
- 輸送効率を高めるため、エレベータはできるだけ建物中央に集中配置してください。

フジテックのホームページで設計に必要な情報をご提供しています。

- ☐BIMダウンロード
- ☐CADダウンロード
- ☐お手軽交通計算

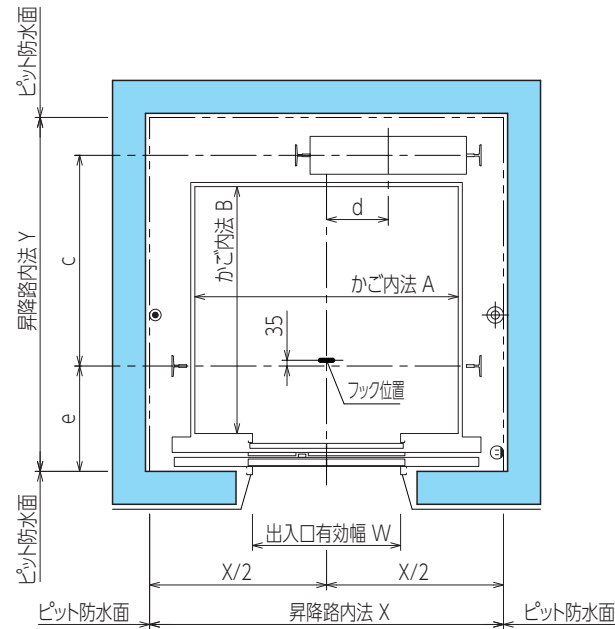
上記3つのサービスは、簡単な会員登録ですすぐにご利用いただくことができます。

設計をお考えの方は <https://www.fujitec.co.jp/sales/>

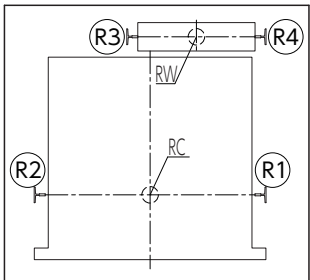
1-2基本仕様

No.	型式	定格速度	容量		電動機容量
		(m/min)	定員（名）	積載（kg）	(kW)
1	P-6-2CO-45	45	6	450	2.1
2	P-6-2CO-60	60			2.8
3	P-6-2CO-90	90			4.2
4	P-6-2CO-105	105			4.9
5	P-6-2CO-120	120	9	600	5.8
6	P-9-2CO-45	45			2.8
7	P-9-2CO-60	60			3.7
8	P-9-2CO-90	90			5.6
9	P-9-2CO-105	105	11	750	6.5
10	P-9-2CO-105	120			7.4
11	P-11-2CO-45	45			3.5
12	P-11-2CO-60	60			4.6
13	P-11-2CO-90	90	13	900	6.9
14	P-11-2CO-105	105			8.1
15	P-11-2CO-120	120			9.2
16	P-13-2CO-45	45			4.2
17	P-13-2CO-60	60	15	1000	5.6
18	P-13-2CO-90	90			8.3
19	P-13-2CO-105	105			9.7
20	P-13-2CO-120	120			12.0
21	P-15-2CO-45	45	17	1150	4.6
22	P-15-2CO-60	60			6.2
23	P-15-2CO-90	90			9.2
24	P-15-2CO-105	105			11.0
25	P-15-2CO-120	120	20	1350	13.0
26	P-17S-2CO-45	45			5.3
27	P-17S-2CO-60	60			7.1
28	P-17S-2CO-90	90			11.0
29	P-17S-2CO-105	105	24	1600	13.0
30	P-17S-2CO-120	120			15.0
31	P-20S-2CO-45	45			6.3
32	P-20S-2CO-60	60			8.3
33	P-20S-2CO-90	90	24	1600	13.0
34	P-20S-2CO-105	105			15.0
35	P-20S-2CO-120	120			17.0
36	P-24S-2CO-45	45			7.4
37	P-24S-2CO-60	60	24	1600	9.9
38	P-24S-2CO-90	90			15.0
39	P-24S-2CO-105	105			18.0
40	P-24S-2CO-120	120			20.0
41	P-24S-4CO-45	45	24	1600	7.4
42	P-24S-4CO-60	60			9.9
43	P-24S-4CO-90	90			15.0
44	P-24S-4CO-105	105			18.0
45	P-24S-4CO-120	120	24	1600	20.0
46	P-24W-4CO-45	45			7.4
47	P-24W-4CO-60	60			9.9
48	P-24W-4CO-90	90			15.0
49	P-24W-4CO-105	105	26	1700	18.0
50	P-24W-4CO-120	120			20.0
51	P-26S-2CO-45	45			7.9
52	P-26S-2CO-60	60			11.0
53	P-26S-2CO-90	90	30	1350	16.0
54	P-26S-2CO-105	105			19.0
55	P-26S-2CO-120	120			21.0
56	P-30S-4CO-45	45			9.2
57	P-30S-4CO-60	60	30	2000	13.0
58	P-30S-4CO-90	90			19.0
59	P-30S-4CO-105	105			22.0
60	P-30S-4CO-120	120			25.0
61	P-30W-4CO-45	45	38	2500	9.2
62	P-30W-2CO-60	60			13.0
63	P-30W-2CO-90	90			19.0
64	P-30W-2CO-105	105			22.0
65	P-30W-2CO-120	120	38	2500	25.0
66	P-38S-4CO-45	45			12.0
67	P-38S-2CO-60	60			16.0
68	P-38S-2CO-90	90			23.0
69	P-38S-2CO-105	105	38	2500	27.0
70	P-38S-2CO-120	120			31.0

1-3 昇降路がRC造の場合の寸法例（積載1000kg以下）




升降路平面図

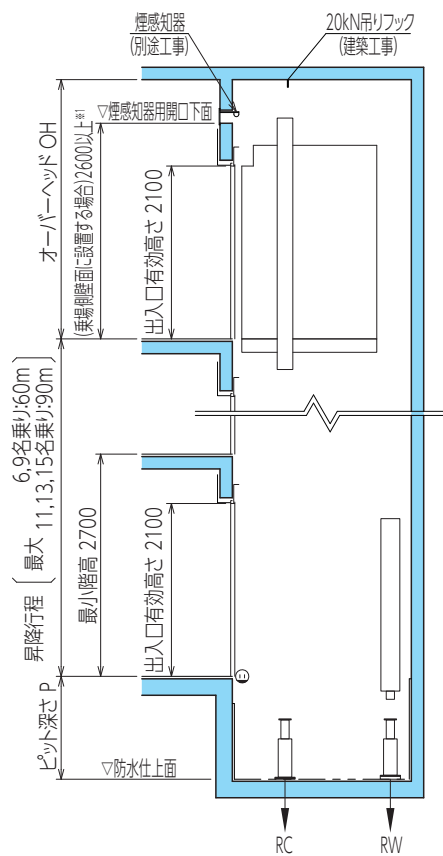


ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

Py		Px	Py
	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。



升降路断面図

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
	NITTEジョーラージャック ① 引き込み高さ下層FLEは200mm ② 出し電線長さ4500mm	NITTEジョーラージャック ① 引き込み高さ下層FLEは411(天井裏レベル) ② 出し電線長さ3411(4500mm)	(別途工事)
④	電源引き込み位置 ① 引き込み高さ下層FLEは200~0mm ② 出し電線長さ3350mm	電源引き込み位置 ① 引き込み高さ下層FLEは411(天井裏レベル) ② 出し電線長さ3350mm(4500mm)	(電気工事)
⑤	点検用コンセント100V ① 引き込み高さ下層FLEは200mm	点検用コンセント100V ① 引き込み高さ下層FLEは200mm	(電気工事)

標準寸法表

(単位：mm)

型式	かご内法 A×B	出入口 有効幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH ㊦					ビット深さ P			c	d	e
			昇降行程		昇降行程					昇降行程					
			60m以下	90m以下	30m以下	45m以下	60m以下	80m以下	90m以下	60m以下	80m以下	90m以下			
P-6-2CO-45	1400×850	800	1800×1500	—	3000	3050	3150	—	—	1250	—	—	780	300	485
P-6-2CO-60			3350		3400	3500									
P-6-2CO-90			1850×1550		3450	3500	3600								
P-6-2CO-105															
P-6-2CO-120															
P-9-2CO-45	1400×1100	800	1800×1750	—	3000	3050	3150	—	—	1250	—	—	990	375	520
P-9-2CO-60			3350		3400	3500									
P-9-2CO-90			1850×1800		3450	3500	3600								
P-9-2CO-105															
P-9-2CO-120															
P-11-2CO-45	1400×1350	800	1800×2000	—	3000	3050	3150	—	—	1250	—	—	1180	375	595
P-11-2CO-60			1850×2050	1900×2050	3350	3400	3500	3500	3600		1500	1850			
P-11-2CO-90					3450	3500	3600	3600	3700						
P-11-2CO-105					3000	3050	3150	—	—	1250	—	—	1180	375	595
P-11-2CO-120															
P-13-2CO-45	1600×1350	900	2150×2150	—	3000	3050	3150	—	—	1250	—	—	1180	375	595
P-13-2CO-60				2150×2150	3350	3400	3500	3500	3600		1500	1850			
P-13-2CO-90					3450	3500	3600	3600	3700						
P-13-2CO-105			2150×2300	—	3000	3050	3150	—	—	1250	—	—	1280	375	645
P-13-2CO-120															
P-15-2CO-45															
P-15-2CO-60															
P-15-2CO-90	1600×1500	900	2150×2300	2150×2300	3350	3400	3500	3500	3600	1250	1500	1850	1280	375	645
P-15-2CO-105					3450	3500	3600	3600	3700						
P-15-2CO-120															

【注】①昇降路内法はJIS A4301-1983によります。
②昇降路内法はビット防水仕上後の有効寸法です。
また、ビット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間「建梁工事」が必要となります。
④最大ビット部は2000mmです。
最大寸法寸法を超え時は戻ってください。(建築工事)
⑤ビット下部は原則として使用できません。
⑥昇降路補償設計・施工指針(2016年度版)参照。耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。

⑦クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッド寸法より延長となり、別途換気設備(別途工事)が必要となる場合があります。
⑧電源引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑨昇降路のコンクリート厚さは150mm以上(仕上値を含まず)にしてください。
また、同コンクリートの強度は21N/㎡(Fc21)以上と確保ください。
⑩ヘッドの仕様は必ず「昇降路」の項目に大きい場合/特に高さを必要とする機器をかつご上に設置する場合は更にオーバーヘッドの寸法により必要となります。
⑪昇降路の状況(隣接居室あり、耐震スリットあり等)によっては、昇降路内法が大きくなることがあります。

荷重表

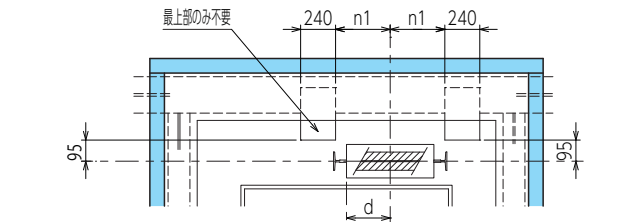
型式	ビット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ビット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
P-6-2CO-45	27	28	51	22	52	49	3.6	3.3	5.5	2.8
P-6-2CO-60					64	62				
P-6-2CO-90					66	64				
P-6-2CO-105					67	65				
P-6-2CO-120					67	65				
P-9-2CO-45	29	29	50	25	59	54	3.9	3.3	5.9	3.0
P-9-2CO-60					73	68				
P-9-2CO-90					75	70				
P-9-2CO-105					77	72				
P-9-2CO-120					77	72				
P-11-2CO-45	31	32	51	26	67	60	4.3	3.4	6.4	3.2
P-11-2CO-60					83	76				
P-11-2CO-90					85	79				
P-11-2CO-105					87	81				
P-11-2CO-120					87	81				
P-13-2CO-45	33	34	52	29	75	66	4.7	3.6	6.9	3.5
P-13-2CO-60					93	83				
P-13-2CO-90					96	87				
P-13-2CO-105					98	89				
P-13-2CO-120					98	89				
P-15-2CO-45	34	36	53	30	80	69	4.9	3.6	7.2	3.6
P-15-2CO-60					99	87				
P-15-2CO-90					102	91				
P-15-2CO-105					104	93				
P-15-2CO-120					104	93				

【注】①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

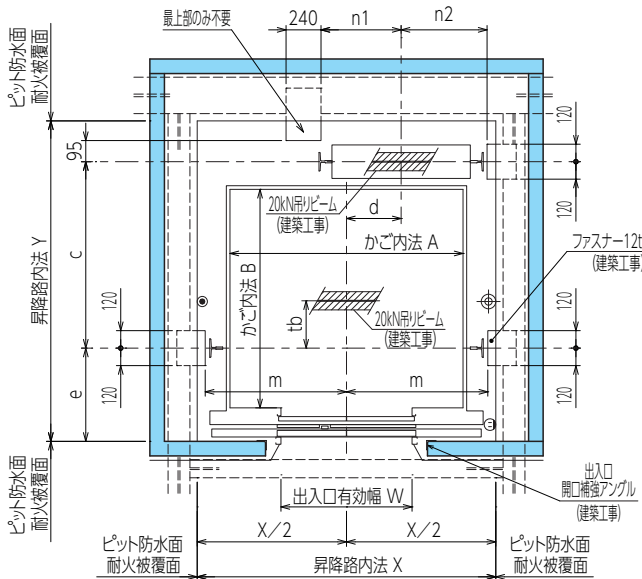
※1. 下記条件の場合は寸法が変更となりますので、当社にご相談ください。

1. 幕板付きの場合
2. 乗場側以外の壁面に設置の場合

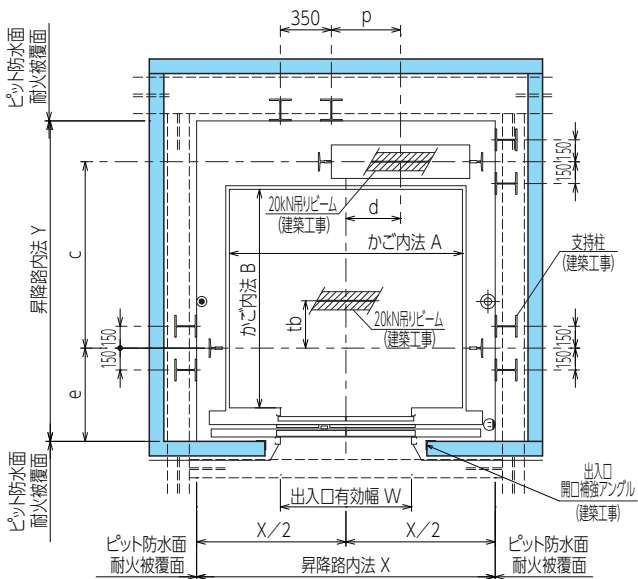
1-4 昇降路がS造の場合の寸法例（積載1000kg以下）



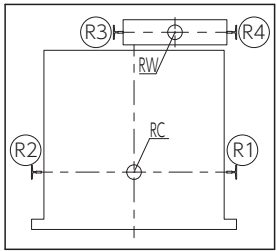
(P-6-COの場合背面側ファスナーの配置が異なります)



昇降路平面図
(ファスナーの場合)



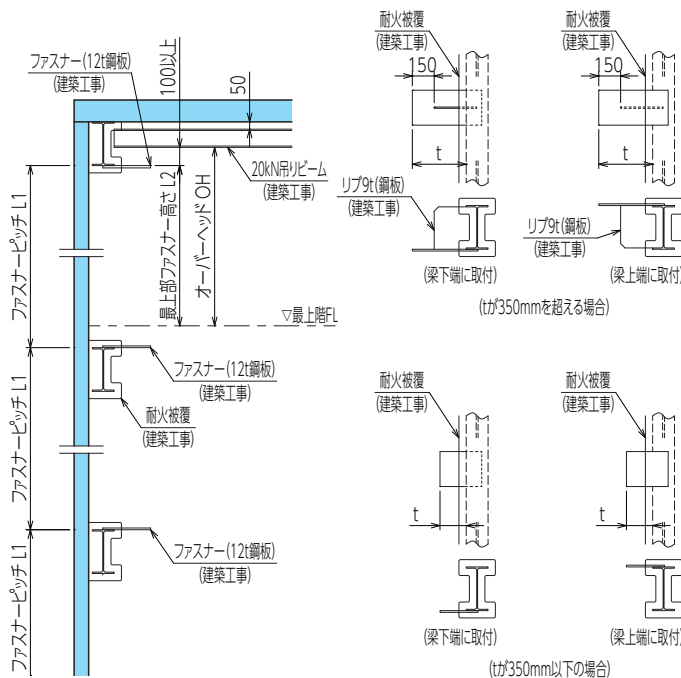
昇降路平面図
(レール支持用柱の場合)



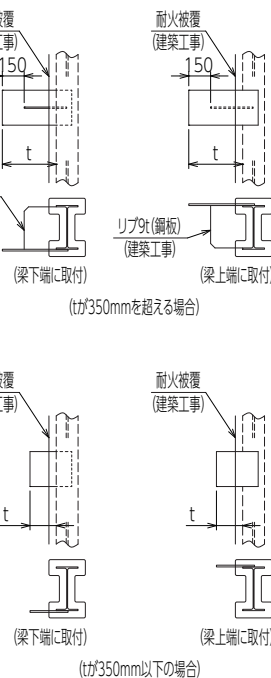
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値			
Py	Px	Py	Px
かご	PC1	PC2	
おもり	PW1	PW2	
本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。			

電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
● NITEモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL±200mm 引出し電線長さ: 4500mm	● NITEモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+4500mm	(別途工事)
⊙ 電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL-200~0mm 引出し電線長さ: 3500mm	⊙ 電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+3500mm	(電気工事)
① 点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	① 点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	(電気工事)



ファスナー取付要領図



ファスナー取付詳細図

標準寸法表

(単位: mm)

型式	かご内法 A×B	出入口 有効幅 W	昇降路内法X×Y		オーバーヘッド OH 注⑥					ピット深さ P			c	d	e	m	n1	n2	p	tb
			昇降行程		昇降行程					昇降行程										
			60m以下	90m以下	30m以下	45m以下	60m以下	80m以下	90m以下	60m以下	80m以下	90m以下								
P-6-CO-45	1400× 850	800	1900×1550	—	3000	3050	3150	—	—	1250	—	—	780	300	485	870	375	—	250	160
P-6-CO-60					3350	3400	3500													
P-6-CO-90					3450	3500	3600													
P-6-CO-105																				
P-6-CO-120	1400×1100	800	1900×1800	—	3000	3050	3150	—	—	1250	—	—	990	375	520	870	450	495	325	275
P-9-CO-45					3350	3400	3500													
P-9-CO-60					3450	3500	3600													
P-9-CO-90																				
P-9-CO-105	1400×1350	800	1900×2050	—	3000	3050	3150	—	—	1250	—	—	1180	375	595	870	450	495	325	250
P-11-CO-45					3350	3400	3500													
P-11-CO-60					3450	3500	3600													
P-11-CO-90					3450	3500	3600													
P-11-CO-105	1600×1350	900	2150×2150	—	3000	3050	3150	—	—	1250	—	—	1180	375	595	970	550	595	425	275
P-13-CO-45					3350	3400	3500													
P-13-CO-60					3450	3500	3600													
P-13-CO-90					3450	3500	3600													
P-13-CO-105	1600×1500	900	2150×2300	—	3000	3050	3150	—	—	1250	—	—	1280	375	645	970	550	595	425	325
P-15-CO-45					3350	3400	3500													
P-15-CO-60					3450	3500	3600													
P-15-CO-90					3450	3500	3600													
P-15-CO-105					3450	3500	3600	3600	3700		1500	1850								
P-15-CO-120																				

[注] ①昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
②ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
③最大ピット寸法は2000mmです。 最大ピット寸法を超える時は埋戻ししてください。（建築工事）
④ピット下部は原則として使用できません。
⑤昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版） 耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑥クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッド寸法より延長となり、別途換気設備（別途工事）が必要となる場合があります。
⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含み）にしてください。
また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や特に高さのある機器をかご上に設置する場合は更にオーバーヘッド寸法が必要になります。

荷重表

(単位: kN)

型式	ピット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ピット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
P-6-CO-45	27	28	51	22	52	49	3.6	3.3	5.5	2.8
P-6-CO-60					64	62				
P-6-CO-90					66	64				
P-6-CO-105					67	65				
P-6-CO-120	29	29	50	25	67	65	3.9	3.3	5.9	3.0
P-9-CO-45					59	54				
P-9-CO-60					73	68				
P-9-CO-90					75	70				
P-9-CO-105	31	32	51	26	77	72	4.3	3.4	6.4	3.2
P-9-CO-120					77	72				
P-11-CO-45					67	60				
P-11-CO-60					83	76				
P-11-CO-90	33	34	52	29	85	79	4.7	3.6	6.9	3.5
P-11-CO-105					87	81				
P-11-CO-120					87	81				
P-13-CO-45					75	66				
P-13-CO-60	34	36	53	30	93	83	4.9	3.6	7.2	3.6
P-13-CO-90					96	87				
P-13-CO-105					98	89				
P-13-CO-120					98	89				
P-15-CO-45					80	69				
P-15-CO-60					99	87				
P-15-CO-90					102	91				
P-15-CO-105					104	93				
P-15-CO-120					104	93				

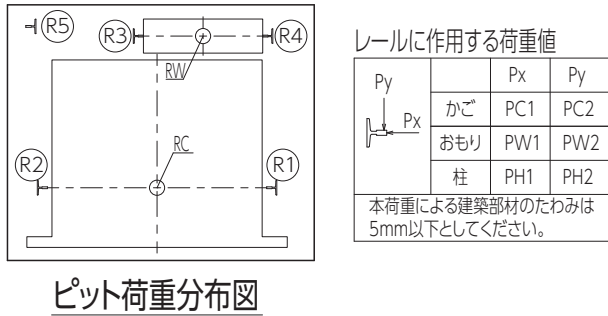
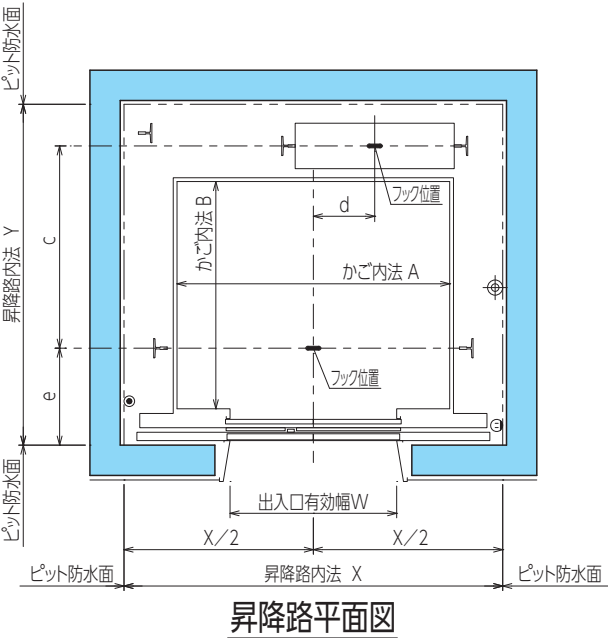
[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

ファスナー取付寸法表

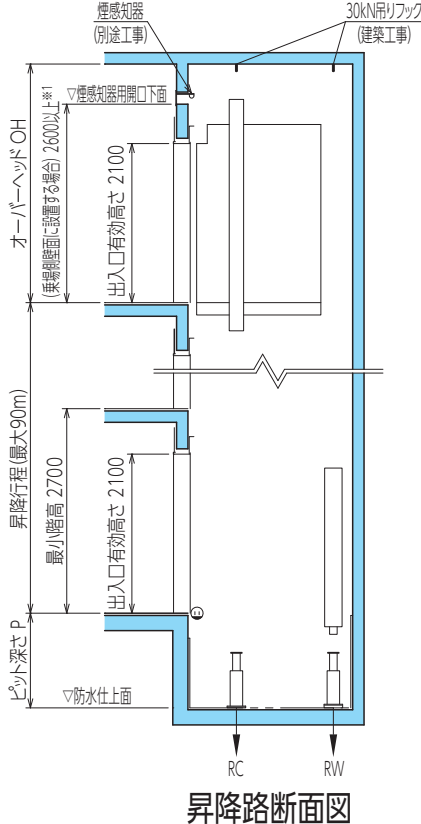
(単位: mm)

型式	ファスナーピッチ (L1)	最上階ファスナー高さ (L2)			
		昇降行程			
		30m以下	45m以下	60m以下	90m以下
P-6-CO-45	3700以下	2750～2900	2800～2950	2900～3050	—
P-6-CO-60		3100～3250	3150～3300	3250～3400	
P-6-CO-90		3200～3350	3250～3400	3350～3500	
P-6-CO-105		3200～3350	3250～3400	3350～3500	
P-6-CO-120	3500以下	2750～2900	2800～2950	2900～3050	—
P-9-CO-45		3100～3250	3150～3300	3250～3400	
P-9-CO-60		3200～3350	3250～3400	3350～3500	
P-9-CO-90		3200～3350	3250～3400	3350～3500	
P-9-CO-105	3350以下	2750～2900	2800～2950	2900～3050	—
P-11-CO-45		3100～3250	3150～3300	3250～3400	
P-11-CO-60		3200～3350	3250～3400	3350～3500	
P-11-CO-90		3200～3350	3250～3400	3350～3500	
P-11-CO-105	3250以下	2750～2900	2800～2950	2900～3050	—
P-11-CO-120		3100～3250	3150～3300	3250～3400	
P-13-CO-45		3200～3350	3250～3400	3350～3500	
P-13-CO-60		3200～3350	3250～3400	3350～3500	
P-13-CO-90	3250以下	2750～2900	2800～2950	2900～3050	—
P-13-CO-105		3100～3250	3150～3300	3250～3400	
P-13-CO-120		3200～3350	3250～3400	3350～3500	
P-15-CO-45		3200～3350	3250～3400	3350～3500	
P-15-CO-60	3250以下	2750～2900	2800～2950	2900～3050	—
P-15-CO-90		3100～3250	3150～3300	3250～3400	
P-15-CO-105		3200～3350	3250～3400	3350～3500	
P-15-CO-120		3200～3350	3250～3400	3350～3500	

1-5 昇降路がRC造の場合の寸法例（積載1000kg超）
【ドア開閉形式：2枚両引きの場合】



	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
●	NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL±200mm 引出し電線長さ: 4500mm	NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL+H (天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+4500mm	(別途工事)
⊕	電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL-200~0mm 引出し電線長さ: 3500mm	電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL+H (天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+3500mm	(電気工事)
ⓐ	点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	(電気工事)



標準寸法表

型式	かご内法 A×B	出入口 有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑥					ビット深さ P			c	d	e
				昇降行程					昇降行程					
				30m以下	45m以下	60m以下	80m以下	90m以下	60m以下	80m以下	90m以下			
P-17S-2C0-45	1800×1500	1100	2400×2190	3300	3350	3450	—	—	1250	—	—	1325	405	645
P-17S-2C0-60				3400	3450	3550	3575	3650	1400	1650	1750			
P-17S-2C0-90				3500	3550	3650	3650	3750	1550	1800	1900			
P-17S-2C0-105									1400	1650	1750			
P-17S-2C0-120	1800×1700	1100	2400×2390	3500	3550	3650	3650	3750	1400	1650	1750	1525	405	645
P-20S-2C0-45				3300	3350	3450	—	—	1250	—	—			
P-20S-2C0-60				3400	3450	3550	3575	3650	1400	1650	1750			
P-20S-2C0-90				3500	3550	3650	3650	3750	1550	1800	1900			
P-20S-2C0-105									1400	1650	1750			
P-20S-2C0-120	2000×1750	1100	2560×2440	3500	3550	3650	3650	3750	1400	1650	1750	1560	405	670
P-24S-2C0-45				3300	3350	3450	—	—	1250	—	—			
P-24S-2C0-60				3400	3450	3550	3575	3650	1400	1650	1750			
P-24S-2C0-90				3500	3550	3650	3650	3750	1550	1800	1900			
P-24S-2C0-105									1400	1650	1750			
P-24S-2C0-120	1800×2000	1100	2400×2690	3500	3550	3650	3650	3750	1400	1650	1750	1685	405	795
P-26S-2C0-45				3300	3350	3450	—	—	1250	—	—			
P-26S-2C0-60				3400	3450	3550	3575	3650	1400	1650	1750			
P-26S-2C0-90				3500	3550	3650	3650	3750	1550	1800	1900			
P-26S-2C0-105									1400	1650	1750			
P-26S-2C0-120				3500	3550	3650	3650	3750	1400	1650	1750			

[注] ①昇降路内法はビット防水仕上後の有効寸法です。
また、ビット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
②昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
③最大ビット寸法は2000mmです。
最大ビット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
④ビット下部は原則として使用できません。
⑤昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑥クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッド寸法より延長となり、別途換気設備（別途工事）が必要となる場合があります。
⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や特に高さのある機器をかご上に設置する場合は更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑩昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり等）によっては、昇降路内法が大きくなる場合があります。

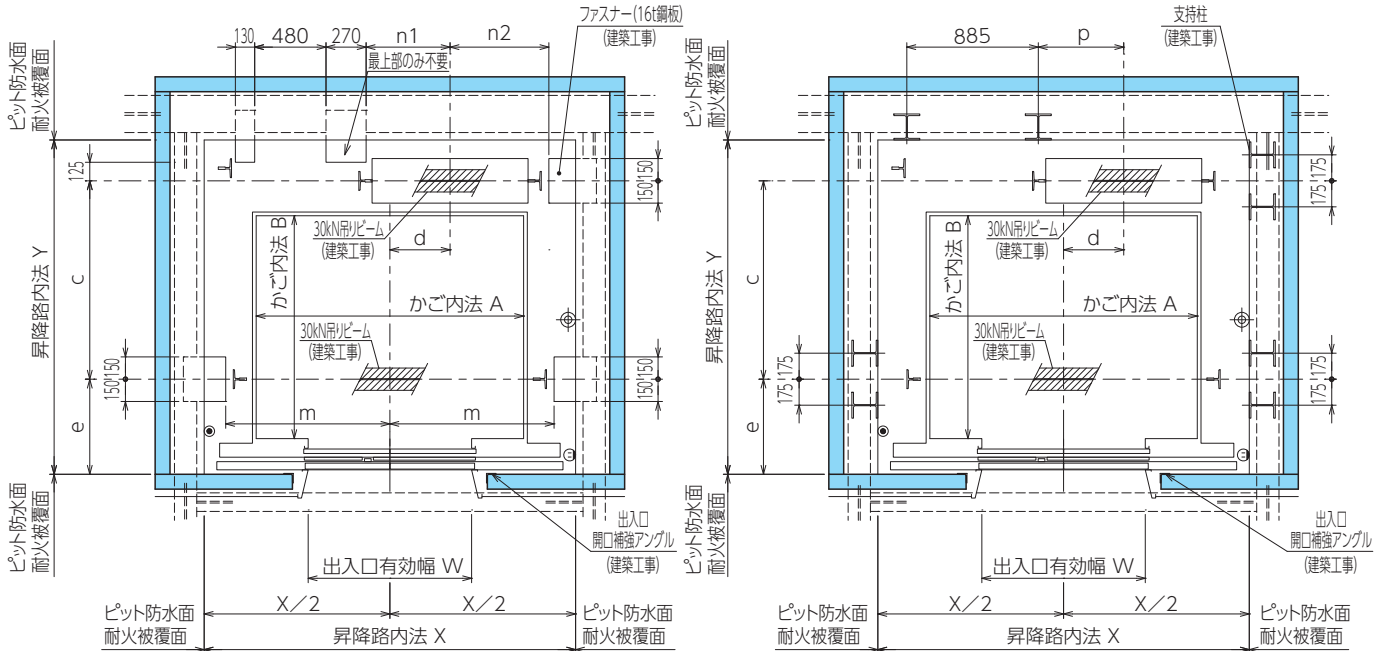
荷重表

型式	ビット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)					ビット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)					
	R1	R2	R3	R4	R5	RC（かご側）	RW（おもり側）	PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
P-17S-2C0-45	49	54	62	53	29	121	113	8.8	6.1	12.9	6.5	1.7	1.7
P-17S-2C0-60						149	142						
P-17S-2C0-90						154	147						
P-17S-2C0-105						157	150						
P-17S-2C0-120						157	150						
P-20S-2C0-45	52	57	64	54	29	132	121	9.3	6.5	13.7	6.8	1.7	1.7
P-20S-2C0-60						164	153						
P-20S-2C0-90						169	158						
P-20S-2C0-105						172	162						
P-20S-2C0-120						172	162						
P-24S-2C0-45	56	61	66	58	29	148	133	10.2	7.0	14.7	7.4	1.7	1.7
P-24S-2C0-60						183	168						
P-24S-2C0-90						189	173						
P-24S-2C0-105						193	177						
P-24S-2C0-120						193	177						
P-26S-2C0-45	58	63	69	57	29	150	133	10.7	7.1	15.3	7.7	1.7	1.7
P-26S-2C0-60						184	166						
P-26S-2C0-90						190	171						
P-26S-2C0-105						194	175						
P-26S-2C0-120						194	175						

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

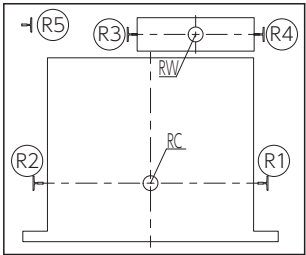
※1. 下記条件の場合は寸法が変更となりますので、当社にご相談ください。
1. 昇板付きの場合
2. 乗場側以外の壁面に設置の場合

1-6 昇降路がS造の場合の寸法例（積載1000kg超）
【ドア開閉形式：2枚両引きの場合】



昇降路平面図
(ファスナーの場合)

昇降路平面図
(レール支持用柱の場合)



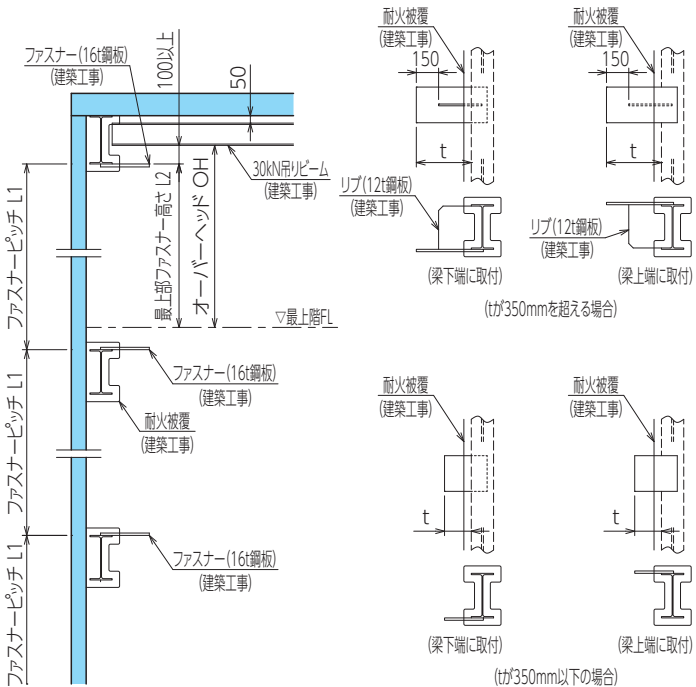
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

Py		Px	Py
	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2
	柱	PH1	PH2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
●	NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL±200mm 引出し電線長さ: 4500mm	NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL+H (天井裏レベル) 引出し電線長さ: 4500mm	(別途工事)
⊕	電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL-200~0mm 引出し電線長さ: 3500mm	電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL+H (天井裏レベル) 引出し電線長さ: 3500mm	(電気工事)
①	点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	(電気工事)



ファスナー取付要領図

ファスナー取付詳細図

標準寸法表

(単位：mm)

型式	かご内法 A×B	出入口 有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑥					ビット深さ P			c	d	e	m	n1	n2	p
				昇降行程					昇降行程									
				30m以下	45m以下	60m以下	80m以下	90m以下	60m以下	80m以下	90m以下							
P-17S-2C0-45	1800×1500	1100	2450×2240	3300	3350	3450	—	—	1250	—	—	1325	405	645	1105	565	665	575
P-17S-2C0-60				3400	3450	3550	3575	3650	1400	1650	1750							
P-17S-2C0-90				3400	3450	3550	3575	3650	1550	1800	1900							
P-17S-2C0-105				3500	3550	3650	3650	3750	1400	1650	1750							
P-17S-2C0-120																		
P-20S-2C0-45	1800×1700	1100	2450×2440	3300	3350	3450	—	—	1250	—	—	1525	405	645	1105	565	665	575
P-20S-2C0-60				3400	3450	3550	3575	3650	1400	1650	1750							
P-20S-2C0-90				3400	3450	3550	3575	3650	1550	1800	1900							
P-20S-2C0-105				3500	3550	3650	3650	3750	1400	1650	1750							
P-20S-2C0-120																		
P-24S-2C0-45	2000×1750	1100	2610×2490	3300	3350	3450	—	—	1250	—	—	1560	405	670	1205	665	765	675
P-24S-2C0-60				3400	3450	3550	3575	3650	1400	1650	1750							
P-24S-2C0-90				3400	3450	3550	3575	3650	1550	1800	1900							
P-24S-2C0-105				3500	3550	3650	3650	3750	1400	1650	1750							
P-24S-2C0-120																		
P-26S-2C0-45	1800×2000	1100	2450×2740	3300	3350	3450	—	—	1250	—	—	1685	405	795	1105	565	665	575
P-26S-2C0-60				3400	3450	3550	3575	3650	1400	1650	1750							
P-26S-2C0-90				3400	3450	3550	3575	3650	1550	1800	1900							
P-26S-2C0-105				3500	3550	3650	3650	3750	1400	1650	1750							
P-26S-2C0-120																		

【注】 ①昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
②ビット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
③最大ビット寸法は2000mmです。最大ビット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
④ビット下部は原則として使用できません。
⑤昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑥クレーンを設置する場合は、上記のオーバーヘッド寸法より延長となり、別途換気設備（別途工事）が必要となる場合があります。

⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。
また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や特に高さのある機器をかご上に設置する場合は更にオーバーヘッド寸法が必要になります。

荷重表

(単位：kN)

型式	ビット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)					ビット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)					
	R1	R2	R3	R4	R5	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
P-17S-2C0-45	49	54	62	53	29	121	113	8.8	6.1	12.9	6.5	1.7	1.7
P-17S-2C0-60						149	142						
P-17S-2C0-90						154	147						
P-17S-2C0-105						157	150						
P-17S-2C0-120						157	150						
P-20S-2C0-45	52	57	64	54	29	132	121	9.3	6.5	13.7	6.8	1.7	1.7
P-20S-2C0-60						164	153						
P-20S-2C0-90						169	158						
P-20S-2C0-105						172	162						
P-20S-2C0-120						172	162						
P-24S-2C0-45	56	61	66	58	29	148	133	10.2	7.0	14.7	7.4	1.7	1.7
P-24S-2C0-60						183	168						
P-24S-2C0-90						189	173						
P-24S-2C0-105						193	177						
P-24S-2C0-120						193	177						
P-26S-2C0-45	58	63	69	57	29	150	133	10.7	7.1	15.3	7.7	1.7	1.7
P-26S-2C0-60						184	166						
P-26S-2C0-90						190	171						
P-26S-2C0-105						194	175						
P-26S-2C0-120						194	175						

【注】 ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

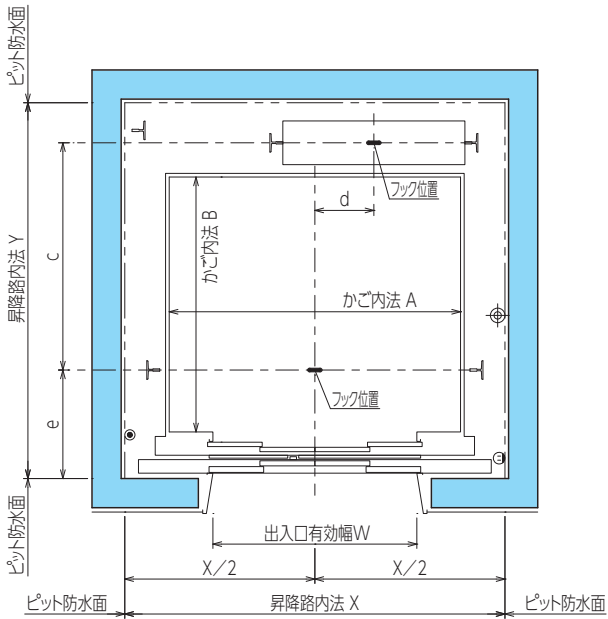
ファスナー取付寸法表

(単位：mm)

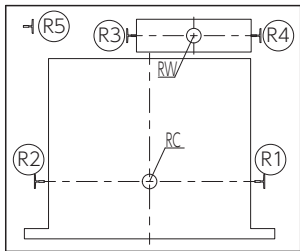
型式	ファスナーピッチ (L1)	最上階ファスナー高さ (L2)			
		昇降行程			
		30m以下	45m以下	60m以下	90m以下
P-17S-2C0-45	3950以下	2815～3025	2865～3075	2965～3175	—
P-17S-2C0-60		2815～3025	2865～3075	2965～3175	—
P-17S-2C0-90		2915～3125	2965～3175	3065～3275	3090～3300
P-17S-2C0-105		3015～3225	3065～3275	3165～3375	3165～3375
P-17S-2C0-120		3015～3225	3065～3275	3165～3375	3165～3375
P-20S-2C0-45	3950以下	2815～3025	2865～3075	2965～3175	—
P-20S-2C0-60		2815～3025	2865～3075	2965～3175	—
P-20S-2C0-90		2915～3125	2965～3175	3065～3275	3090～3300
P-20S-2C0-105		3015～3225	3065～3275	3165～3375	3165～3375
P-20S-2C0-120		3015～3225	3065～3275	3165～3375	3165～3375
P-24S-2C0-45	3950以下	2815～3025	2865～3075	2965～3175	—
P-24S-2C0-60		2815～3025	2865～3075	2965～3175	—
P-24S-2C0-90		2915～3125	2965～3175	3065～3275	3090～3300
P-24S-2C0-105		3015～3225	3065～3275	3165～3375	3165～3375
P-24S-2C0-120		3015～3225	3065～3275	3165～3375	3165～3375
P-26S-2C0-45	3850以下	2815～3025	2865～3075	2965～3175	—
P-26S-2C0-60		2815～3025	2865～3075	2965～3175	—
P-26S-2C0-90		2915～3125	2965～3175	3065～3275	3090～3300
P-26S-2C0-105		3015～3225	3065～3275	3165～3375	3165～3375
P-26S-2C0-120		3015～3225	3065～3275	3165～3375	3165～3375

【注】 ①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要になります。
②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）

1-7 昇降路がRC造の場合の寸法例（積載1000kg超） 【ドア開閉方式：4枚両引きの場合】




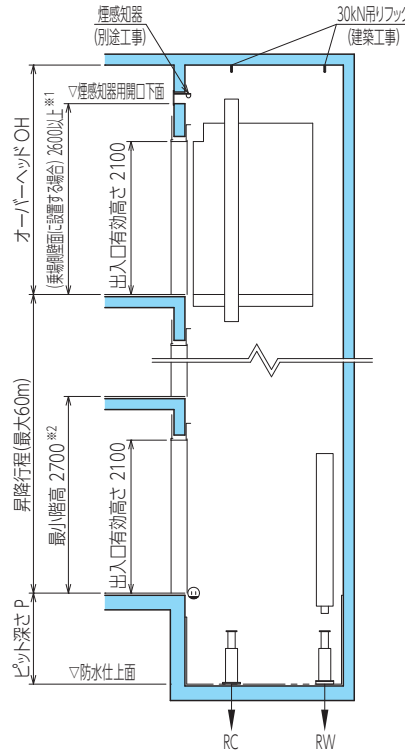
升降路平面図









ピット荷重分布図



Py	Px	Py
	かご	PC1
	おもり	PW1
	柱	PH1
本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。		



升降路断面図

電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
 NTTモジュラージャック 引込み高さ: 最下階FLL+200mm 引出し電線長さ: 4500mm	 NTTモジュラージャック 引込み高さ: 最上階FLL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+4500mm	(別途工事)
 電源引込み位置 引込み高さ: 最下階FLL-200~0mm 引出し電線長さ: 3500mm	 電源引込み位置 引込み高さ: 最上階FLL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+3500mm	(電気工事)
 点検用コンセント100V 引込み高さ: 最下階FLL+200mm	 点検用コンセント100V 引込み高さ: 最下階FLL+200mm	(電気工事)

※1. 下記条件の場合は寸法が変更となりますので、当社にご相談ください。

1. 幕板付きの場合
2. 遮煙エレベータ乗場ドアありの場合
3. 乗場側以外の壁面に設置の場合

※2.遮煙エレベータ乗場ドアの場合は、最小階高=2825となります。

標準寸法表

(単位: mm)

[illegible]

[注] ①昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。

また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。

②昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。

③最大ピット寸法は2000mmです。

最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。(建築工事)

④ピット下部は原則として使用できません。

⑤昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14

耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。

⑥クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッド寸法より

別途換気設備（別途工事）が必要となる場合があります。

⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。

⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。

また、同コンクリートの強度は 21 N/mm^2 (Fc21) 以上確保ください。

⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や

特に高さのある機器をかご上に設置する場合は

更にオーバーヘッド寸法が必要になります。

⑩昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり等）によっては、

昇降路内法が大きくなることがあります。

荷重表

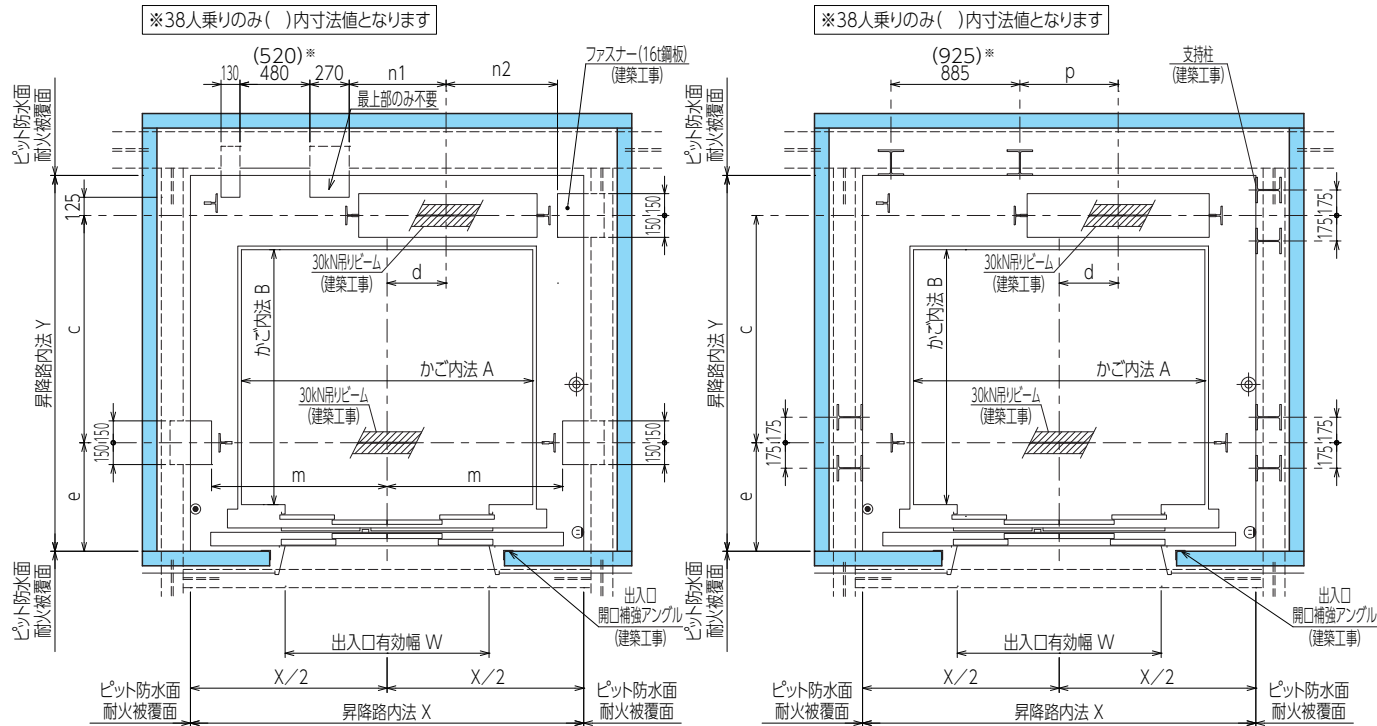
(単位：kN)

型式	ビット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)					ビット部線衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)					
	R1	R2	R3	R4	R5	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
P-24S-4C0-45	56	61	66	58	29	148	133	10.2	7.0	14.7	7.4	1.7	1.7
P-24S-4C0-60						183	168						
P-24S-4C0-90						189	173						
P-24S-4C0-105						193	177						
P-24S-4C0-120						193	177						
P-24W-4C0-45	55	61	66	58	30	148	133	10.2	7.0	14.7	7.4	1.7	1.7
P-24W-4C0-60						183	168						
P-24W-4C0-90						189	173						
P-24W-4C0-105						193	177						
P-24W-4C0-120						193	177						
P-30S-4C0-45	62	68	70	62	30	173	152	11.4	8.0	16.4	8.2	1.7	1.7
P-30S-4C0-60						214	192						
P-30S-4C0-90						220	199						
P-30S-4C0-105						224	203						
P-30S-4C0-120						224	203						
P-30W-4C0-45	62	68	70	64	30	173	152	11.4	8.0	16.4	8.2	1.7	1.7
P-30W-4C0-60						214	192						
P-30W-4C0-90						220	199						
P-30W-4C0-105						224	203						
P-30W-4C0-120						224	203						
P-38S-4C0-45	66	72	72	64	31	190	159	11.9	6.2	17.0	8.5	1.7	1.7
P-38S-4C0-60						235	201						
P-38S-4C0-90						242	208						
P-38S-4C0-105						247	212						
P-38S-4C0-120						247	212						

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)

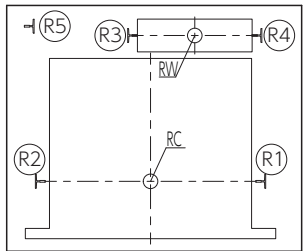
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

1-8 昇降路がS造の場合の寸法例（積載1000kg超） 【ドア開閉方式：4枚両引きの場合】




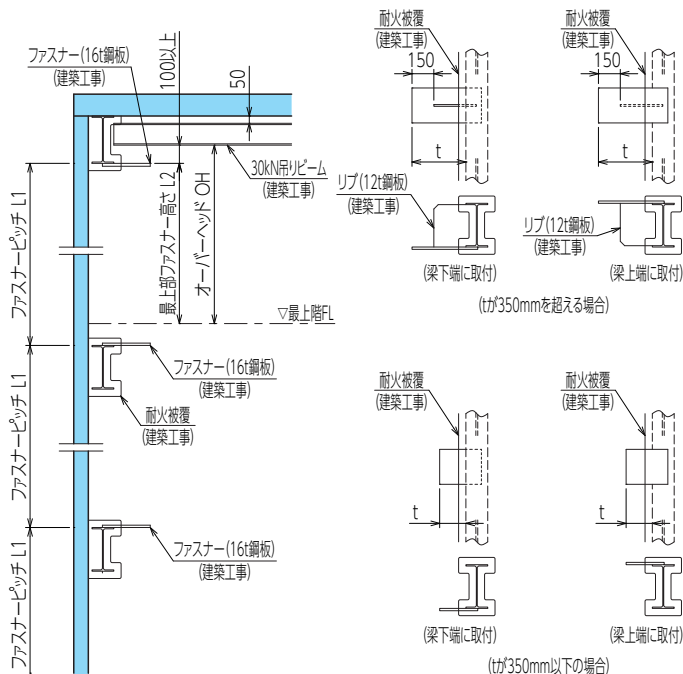
昇降路平面図 (ファスナーの場合)

昇降路平面図
(レール支持用柱の場合)



ピット荷重分布図

ルールに作用する荷重値			
		Px	Py
	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2
	柱	PH1	PH2
本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。			



ファスナー取付要領図

ファスナー取付詳細図

標準寸法表

(单位: mm)

型式	かご内法 A×B	出入口 有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑥			ビット深さ P	c	d	e	m	n1	n2	P
				昇降行程			昇降行程							
				30m以下	45m以下	60m以下	60m以下							
P-24S-4C0-45	2000×1750	1400	2610×2560	3300	3350	3450	1250	1560	405	745	1205	665	765	675
P-24S-4C0-60				3400	3450	3550	1400							
P-24S-4C0-90				3500	3550	3650	1550							
P-24S-4C0-105							1400							
P-24S-4C0-120														
P-24W-4C0-45	2150×1600	1400	2760×2410	3300	3350	3450	1250	1425	330	720	1280	665	765	675
P-24W-4C0-60				3400	3450	3550	1400							
P-24W-4C0-90				3500	3550	3650	1550							
P-24W-4C0-105							1400							
P-24W-4C0-120														
P-30S-4C0-45	2000×2050	1400	2610×2860	3300	3350	3450	1250	1710	405	895	1205	665	765	675
P-30S-4C0-60				3400	3450	3550	1400							
P-30S-4C0-90				3500	3550	3650	1550							
P-30S-4C0-105							1400							
P-30S-4C0-120														
P-30W-4C0-45	2350×1750	1800	3050×2560	3300	3350	3450	1250	1560	330	745	1380	765	865	775
P-30W-4C0-60				3400	3450	3550	1400							
P-30W-4C0-90				3500	3550	3650	1550							
P-30W-4C0-105							1400							
P-30W-4C0-120														
P-38S-4C0-45	2350×2100	1800	3155×2935	3300	3350	3450	1250	1735	330	910	1380	765	865	775
P-38S-4C0-60				3400	3450	3550	1400							
P-38S-4C0-90				3500	3550	3650	1550							
P-38S-4C0-105							1400							
P-38S-4C0-120														

①昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間・壁（建築工事）が必要となります。

②ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。

③最大ピット寸法は2000mmです。最大ピット寸法を超える時は厚展してください。（建築工事）

④ピット下部は原則として使用できません。

⑤昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。

耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。

⑥クレーンを設置する場合は、上記のオーバーヘッド寸法より延長となり、別途換気設備（別途工事）が必要となる場合があります。

⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内にとってください。

⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上りを含まず）にしてください。

また、同コンクリートの強度は21N/mm²（F c21）以上確保ください。

⑨かごの仕様に特ににかご重量が大きい場合や特に高さのある機器をきょう上に設置する場合は更にオーバーヘッド寸法が必要となります。

荷重表

(単位: kN)

型式	ビット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)					ビット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)					
	R1	R2	R3	R4	R5	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
P-24S-4C0-45	56	61	66	58	29	148	133	10.2	7	14.7	7.4	1.7	1.7
P-24S-4C0-60						183	168						
P-24S-4C0-90						189	173						
P-24S-4C0-105						193	177						
P-24S-4C0-120						193	177						
P-24W-4C0-45	55	61	66	58	30	148	133	10.2	7	14.7	7.4	1.7	1.7
P-24W-4C0-60						183	168						
P-24W-4C0-90						189	173						
P-24W-4C0-105						193	177						
P-24W-4C0-120						193	177						
P-30S-4C0-45	62	68	70	62	30	173	152	11.4	8.0	16.4	8.2	1.7	1.7
P-30S-4C0-60						214	192						
P-30S-4C0-90						220	199						
P-30S-4C0-105						224	203						
P-30S-4C0-120						224	203						
P-30W-4C0-45	62	68	70	64	30	173	152	11.4	8.0	16.4	8.2	1.7	1.7
P-30W-4C0-60						214	192						
P-30W-4C0-90						220	199						
P-30W-4C0-105						224	203						
P-30W-4C0-120						224	203						
P-38S-4C0-45	66	72	72	64	31	190	159	11.9	6.2	17.0	8.5	1.7	1.7
P-38S-4C0-60						235	201						
P-38S-4C0-90						242	208						
P-38S-4C0-105						247	212						
P-38S-4C0-120						247	212						

【注】①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

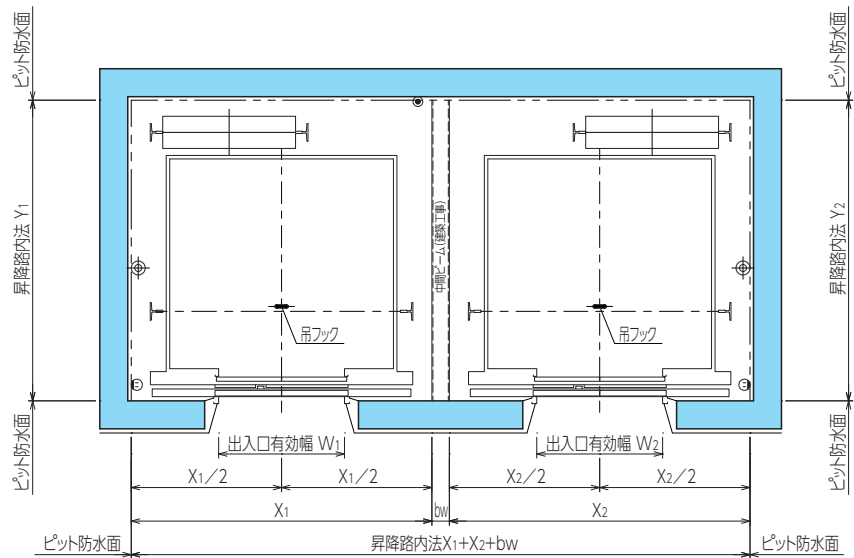
ファスナー取付寸法表

(単位: mm)

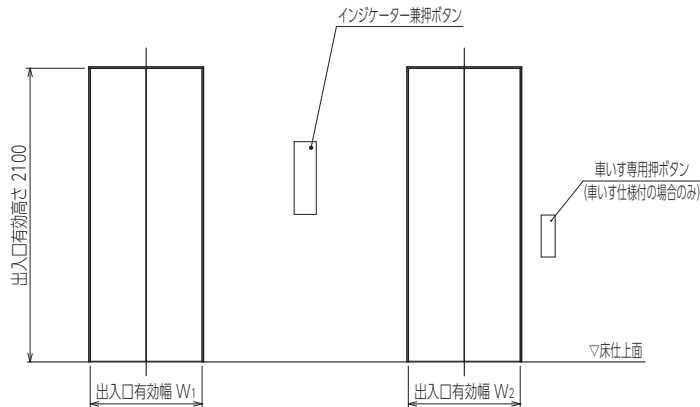
型式	ファスナービッチ (L1)	最上階ファスナー高さ (L2)		
		昇降行程		
		30m以下	45m以下	60m以下
P-24S-4C0-45	3950以下	2815～3025	2865～3075	2965～3175
P-24S-4C0-60				
P-24S-4C0-90		2915～3125	2965～3175	3065～3275
P-24S-4C0-105				
P-24S-4C0-120		3015～3225	3065～3275	3165～3375
P-24W-4C0-45	3950以下	2815～3025	2865～3075	2965～3175
P-24W-4C0-60				
P-24W-4C0-90		2915～3125	2965～3175	3065～3275
P-24W-4C0-105				
P-24W-4C0-120		3015～3225	3065～3275	3165～3375
P-30S-4C0-45	3700以下	2815～3025	2865～3075	2965～3175
P-30S-4C0-60				
P-30S-4C0-90		2915～3125	2965～3175	3065～3275
P-30S-4C0-105				
P-30S-4C0-120		3015～3225	3065～3275	3165～3375
P-30W-4C0-45	3700以下	2815～3025	2865～3075	2965～3175
P-30W-4C0-60				
P-30W-4C0-90		2915～3125	2965～3175	3065～3275
P-30W-4C0-105				
P-30W-4C0-120		3015～3225	3065～3275	3165～3375
P-38S-4C0-45	3600以下	2815～3025	2865～3075	2965～3175
P-38S-4C0-60				
P-38S-4C0-90		2915～3125	2965～3175	3065～3275
P-38S-4C0-105				
P-38S-4C0-120		3015～3225	3065～3275	3165～3375

【注】①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要になります。
②設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)

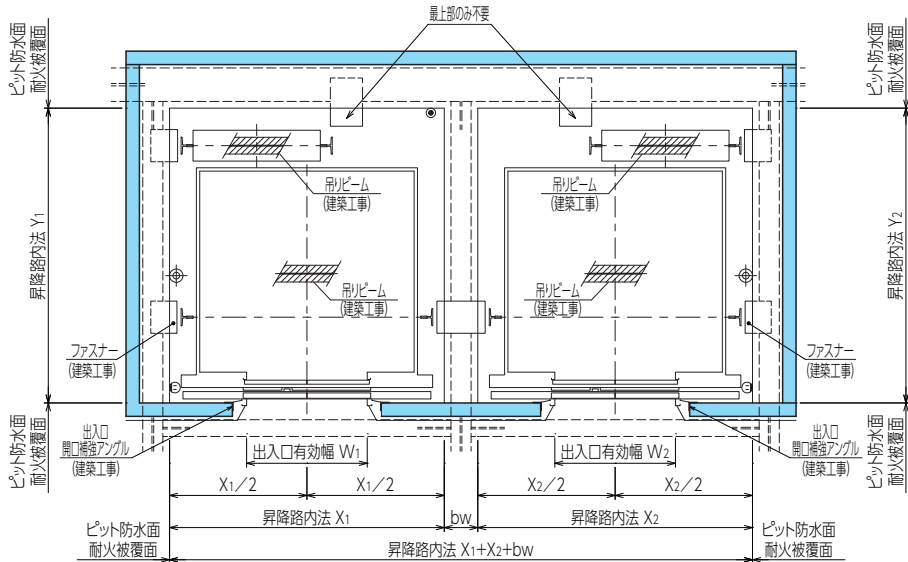
1-9 2台並列設置の場合の配置例
※X, Y寸法値についてはP乗用エレベータの各機種寸法例のページを参照願います。



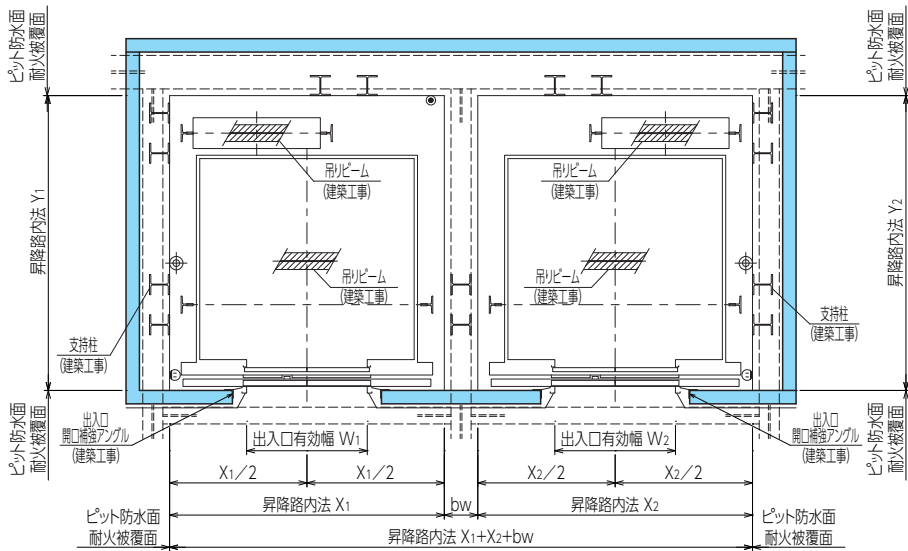
昇降路平面図
(RCの場合)



出入口正面図



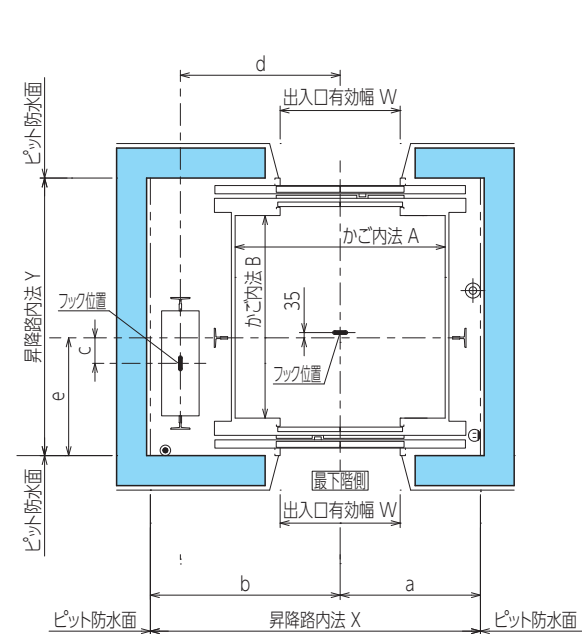
昇降路平面図
(ファスナーの場合)



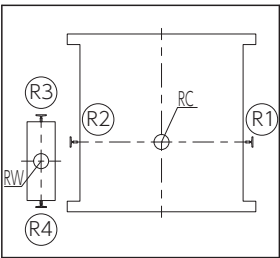
昇降路平面図
(レール支持用柱の場合)

Ⅱ－２ 計画編（二方向出入口）

2－1 昇降路がRC造の場合の寸法例（積載1000kg以下）



昇降路平面図

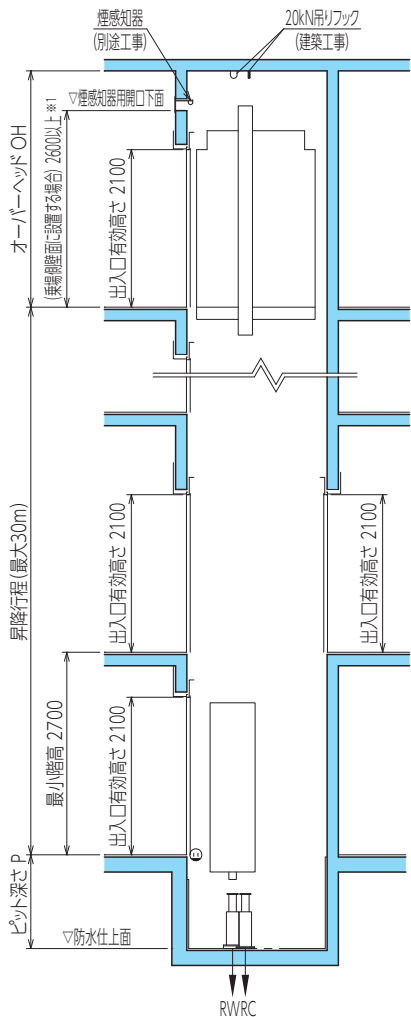


ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

Py	Px	Py
かご	PC1	PC2
おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。



昇降路断面図

標準寸法表

(単位：mm)

型式	かご内法 A×B	出入口 有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑦	ビット深さ P 注②		a	b	c	d	e
				昇降行程	標準	特殊					
				30m以下							
P-11-2CO-45	1400×1350	800	2200×1850	3000	1250	1600	925	1275	170	1065	785
P-11-2CO-60											
P-11-2CO-90				3350							
P-11-2CO-105				3450							
P-11-2CO-120											
P-13-2CO-45	1600×1350	900	2450×1850	3000	1250	1600	1050	1400	170	1165	785
P-13-2CO-60											
P-13-2CO-90				3350							
P-13-2CO-105				3450							
P-13-2CO-120											
P-15-2CO-45	1600×1500	900	2450×2000	3000	1250	1600	1050	1400	195	1165	835
P-15-2CO-60											
P-15-2CO-90				3350							
P-15-2CO-105				3450							
P-15-2CO-120											

[注] ①昇降路内法はビット防水仕上後の有効寸法です。
また、ビット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
②以下の条件の時、ビット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。
・正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び開閉機器点検口を設けられない場合
③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
④最大ビット寸法は2000mmです。
最大ビット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
⑤ビット下部は原則として使用できません。
⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑦クレーンを設置する場合は、上記のオーバーヘッド寸法より延長となり、別途換気設備（別途工事）が必要となる場合があります。
⑧電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑨昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。
また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑩かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や特に高さのある機器をかご上に設置する場合は更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑪昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり 等）によっては、昇降路内法が大きくなることがあります。

荷重表

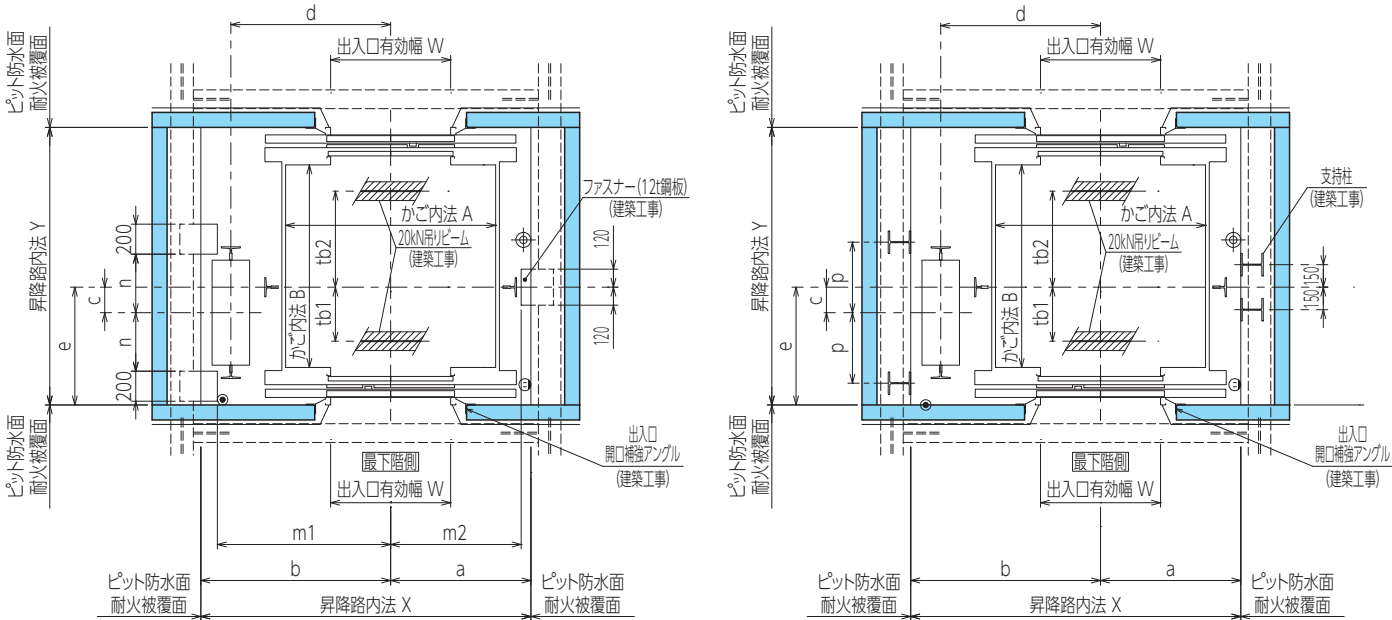
(単位：kN)

型式	ビット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ビット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC（かご側）	RW（おもり側）	PC1	PC2	PW1	PW2
P-11-2CO-45	29	34	39	14	73	65	5.1	4.4	6.1	3.2
P-11-2CO-60					90	82				
P-11-2CO-90					93	85				
P-11-2CO-105					95	87				
P-11-2CO-120	31	37	40	15	95	87	5.4	4.7	6.7	3.5
P-13-2CO-45					81	71				
P-13-2CO-60					100	90				
P-13-2CO-90					103	93				
P-13-2CO-105	32	39	40	16	105	95	5.6	4.9	6.9	3.6
P-13-2CO-120					105	95				
P-15-2CO-45					86	74				
P-15-2CO-60					106	94				
P-15-2CO-90	32	39	40	16	109	97	5.6	4.9	6.9	3.6
P-15-2CO-105					111	99				
P-15-2CO-120					111	99				

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

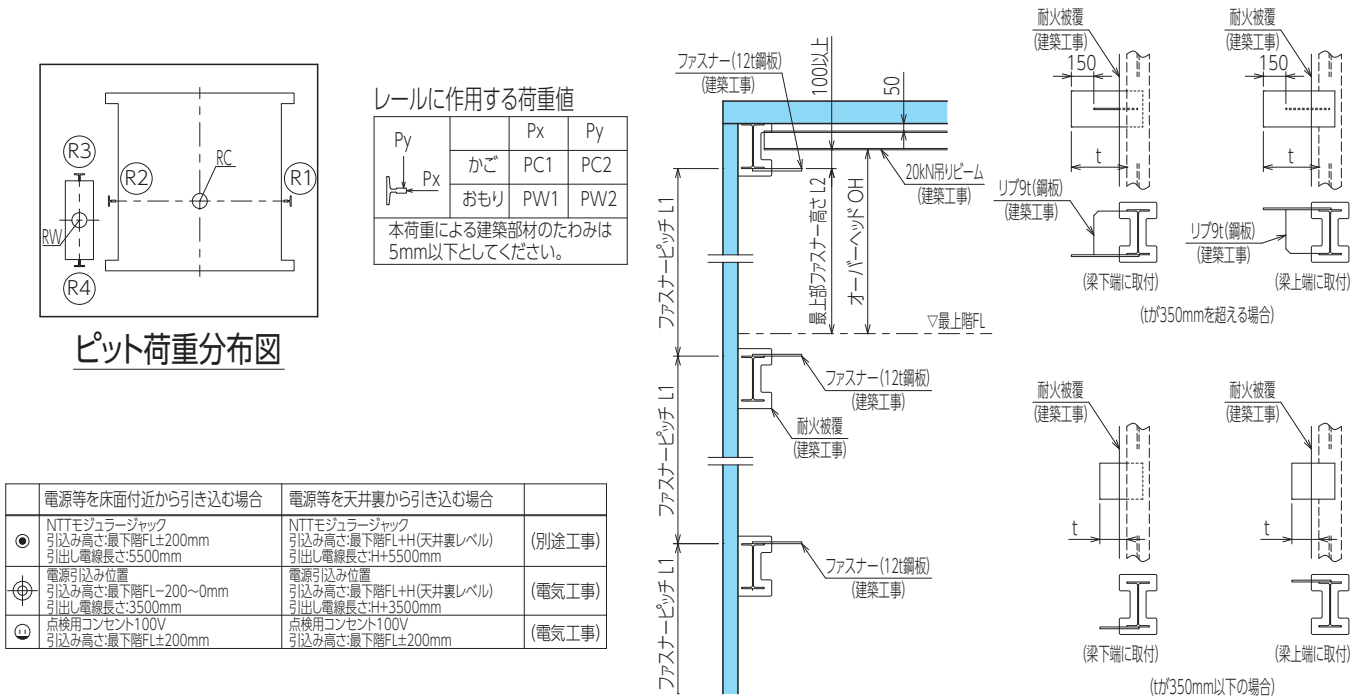
※1. 下記条件の場合は寸法が変更となりますので、当社にご相談ください。
1. 昇板付きの場合
2. 乗場側以外の壁面に設置の場合

2-2 昇降路がS造の場合の寸法例（積載1000kg以下）



昇降路平面図
(ファスナーの場合)

昇降路平面図
(レール支持用柱の場合)



ファスナー取付要領図

ファスナー取付詳細図

標準寸法表

(単位：mm)

型式	かご内法 A×B	出入口 有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑦		ビット深さ P 注②		a	b	c	d	e	m1	m2	n	p	tb1	tb2
				昇降行程 30m以下		標準	特殊											
P-11-2C0-45	1400×1350	800	2250×1850	3000	1250	1600		950	1300	170	1065	785	1155	870	390	470	360	640
P-11-2C0-60				3350														
P-11-2C0-90				3450														
P-11-2C0-105				3450														
P-11-2C0-120	1600×1350	900	2450×1850	3000	1250	1600		1050	1400	170	1165	785	1255	970	390	470	360	640
P-13-2C0-45				3350														
P-13-2C0-60				3450														
P-13-2C0-90				3450														
P-15-2C0-45	1600×1500	900	2450×2000	3000	1250	1600		1050	1400	195	1165	835	1255	970	415	495	335	665
P-15-2C0-60				3350														
P-15-2C0-90				3450														
P-15-2C0-105				3450														
P-15-2C0-120																		

[注] ①ビット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
②以下の条件の時、ビット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。
・正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び
開閉機器点検口を設けられない場合
③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
④最大ビット寸法は2000mmです。
最大ビット寸法を超える時は埋戻ししてください。（建築工事）
⑤ビット下部は原則として使用できません。
⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑦クレーンを設置する場合は、上記のオーバーヘッド寸法より延長となり、
別途換気設備（別途工事）が必要となる場合があります。
⑧電源線引出し位置の誤差は±40mm以内とさせていただきます。
⑨昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。
また、同コンクリートの強度は21 N/mm²（F c21）以上確保ください。
⑩かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や
特に高さのある機器をかご上に設置する場合は
更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑪昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり 等）によっては、
昇降路内法が大きくなることがあります。

荷重表

(単位：kN)

型式	ビット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ビット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC（かご側）	RW（おもり側）	PC1	PC2	PW1	PW2
P-11-2C0-45	29	34	39	14	73	65	5.1	4.4	6.1	3.2
P-11-2C0-60					90	82				
P-11-2C0-90					93	85				
P-11-2C0-105					95	87				
P-11-2C0-120					95	87				
P-13-2C0-45	31	37	40	15	81	71	5.4	4.7	6.7	3.5
P-13-2C0-60					100	90				
P-13-2C0-90					103	93				
P-13-2C0-105					105	95				
P-13-2C0-120					105	95				
P-15-2C0-45	32	39	40	16	86	74	5.6	4.9	6.9	3.6
P-15-2C0-60					106	94				
P-15-2C0-90					109	97				
P-15-2C0-105					111	99				
P-15-2C0-120					111	99				

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

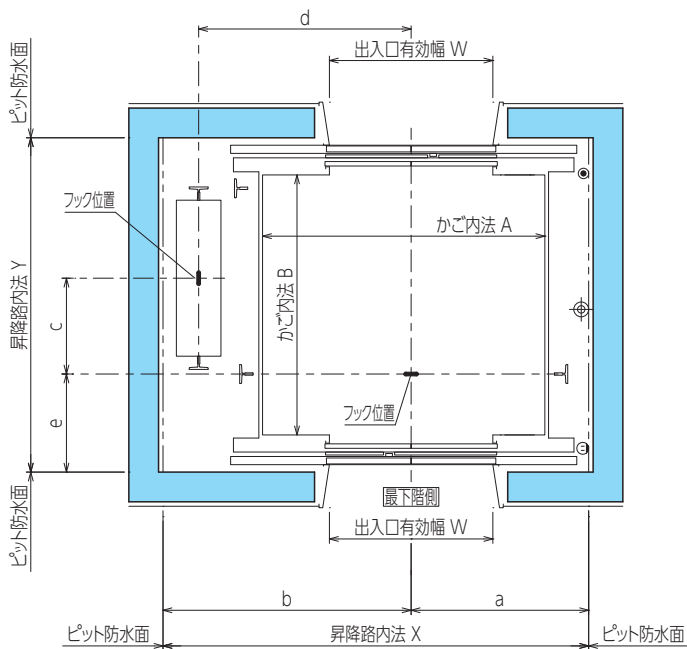
ファスナー取付寸法表

(単位：mm)

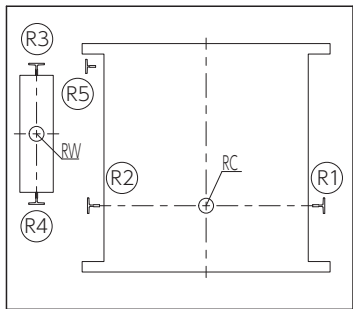
型式	ファスナーピッチ (L1)	最上階ファスナー高さ (L2)
		昇降行程 30m以下
P-11-2C0-45	3350以下	2750～2900
P-11-2C0-60		3100～3250
P-11-2C0-90		3200～3350
P-11-2C0-105		3200～3350
P-13-2C0-45	3250以下	2750～2900
P-13-2C0-60		3100～3250
P-13-2C0-90		3200～3350
P-13-2C0-105		3200～3350
P-15-2C0-45	3250以下	2750～2900
P-15-2C0-60		3100～3250
P-15-2C0-90		3200～3350
P-15-2C0-105		3200～3350
P-15-2C0-120		

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）


2-3 昇降路がRC造の場合の寸法例（積載1000kg超） 【ドア開閉方式：2枚両引きの場合】

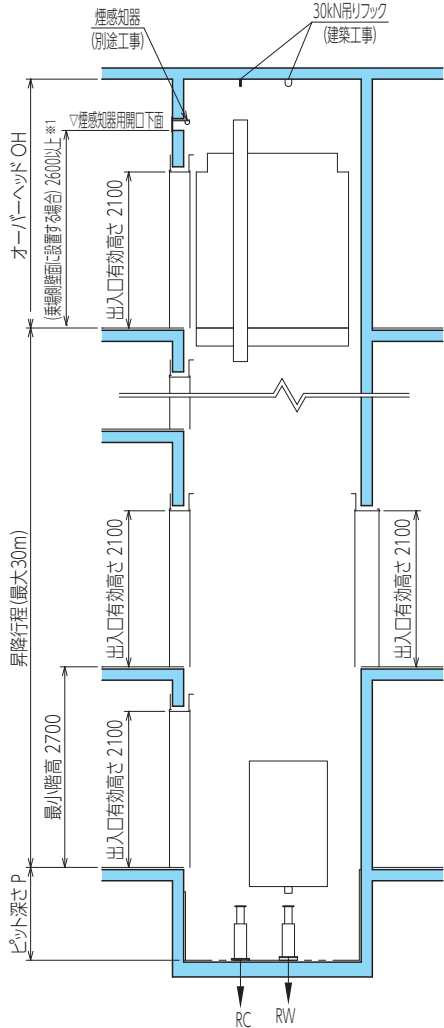


升降路平面図



ピット荷重分布図

ルールに作用する荷重値			
		Px	Py
	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2
	柱	PH1	PH2
本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。			



升降路断面図

標準寸法表

(単位：mm)

型式	かご内法 A×B	出入口 有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑦	ピット深さ P 注②		a	b	c	d	e
				昇降行程	標準	特殊					
				30m以下							
P-24S-2CO-45	2000×1750	1100	3100×2210	3350	1250	1650	1280	1820	645	1630	640
P-24S-2CO-60											
P-24S-2CO-90				3450	1400	1800					
P-24S-2CO-105				3550	1550	1950					
P-24S-2CO-120					1400	1800					
P-26S-2CO-45	1800×2000	1100	2950×2460	3350	1250	1650	1200	1750	445	1555	855
P-26S-2CO-60											
P-26S-2CO-90				3450	1400	1800					
P-26S-2CO-105				3550	1550	1950					
P-26S-2CO-120					1400	1800					

①昇降路内法はビット防水仕上の有効方法です。
また、ビット部の防水厚さは25mm以下にしてください。

②以下の条件の時、ビット深さは「特務」に記載している寸法を確保ください。
・正面側または背面側の乗降ドアが最下階の及び
・開閉機室が床口を設ける場合

③昇降路内法寸法が特務の場合、中間ビーム（建築工事）が必要となります。

④最ビット寸法は2000mmです。
最大ビット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）

⑤ビット下部は原則として使用できません。

⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。

⑦クレーンを設置する場合は、上記のオーバーヘッド寸法より延長となり、別途換気設備（別途工事）が必要となる場合があります。

⑧電源線引出し位置の誤差は±40mm以内とししてください。

⑨昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。
また、同コンクリートの強度は21N/mm²（F_c21）以上確保ください。

⑩かごの仕様に特に注意が必要で、かご重量が大きい場合や特に高さのある壁面をかつ上設置する場合は更にオーバーヘッド寸法が必要になります。

⑪昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり等）によっては、昇降路内法が大きくなることがあります。

[illegible]

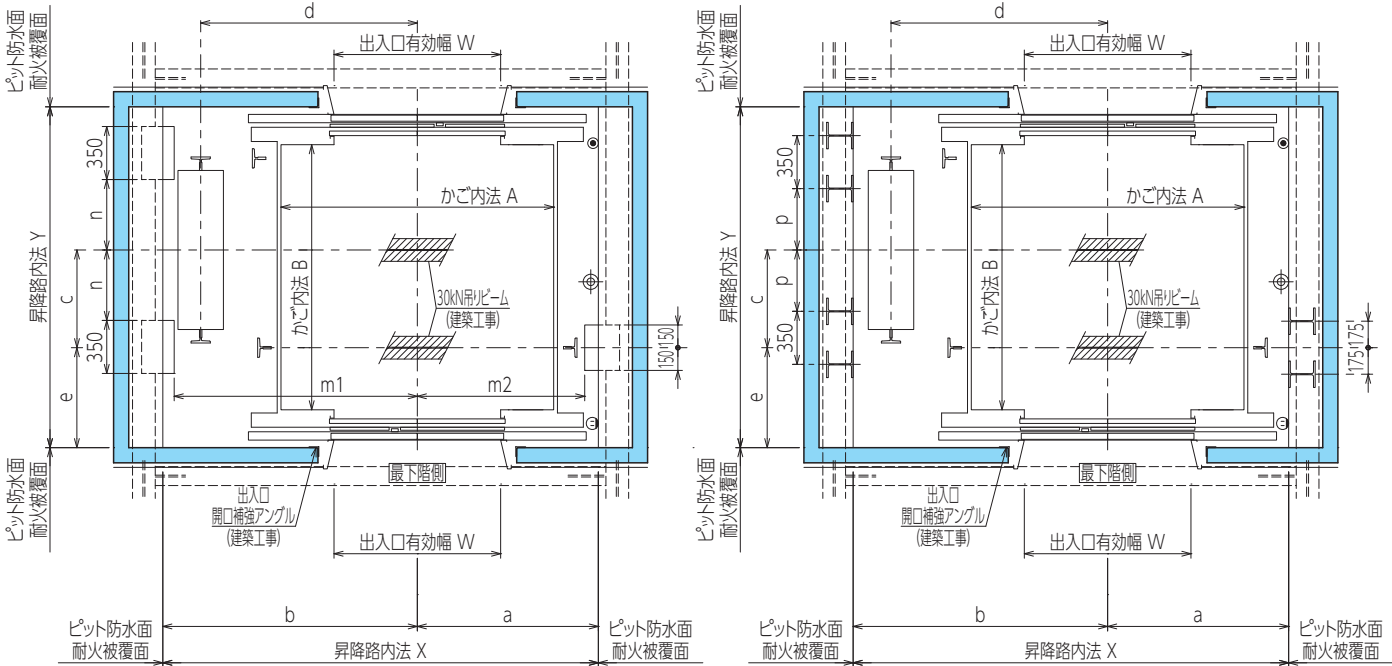
[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
●	NTTモジュラージャック 引き込み高さ：最下階FL±200mm 引き出し電線長さ≦5500mm	NTTモジュラージャック 引き込み高さ：最下階FL+H(天井裏レベル) 引き出し電線長さ≦H+5500mm	(別途工事)
◎	電源を引き込み位置 引き込み高さ：最下階FL-200～0mm 引き出し電線長さ≦3500mm	電源を引き込み位置 引き込み高さ：最下階FL+H(天井裏レベル) 引き出し電線長さ≦H+3500mm	(電気工事)
①	点検用コンセント100V 引き込み高さ：最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引き込み高さ：最下階FL±200mm	(電気工事)

※ 1. 下記条件の場合は寸法が変更となりますので、当社にご相談ください。

1. 幕板付きの場合
2. 乗場側以外の壁面に設置の場合

2-4 昇降路がS造の場合の寸法例（積載1000kg超）
【ドア開閉方式：2枚両引きの場合】

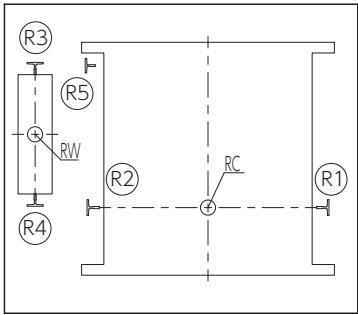


昇降路平面図

(ファスナーの場合)

昇降路平面図

(レール支持用柱の場合)



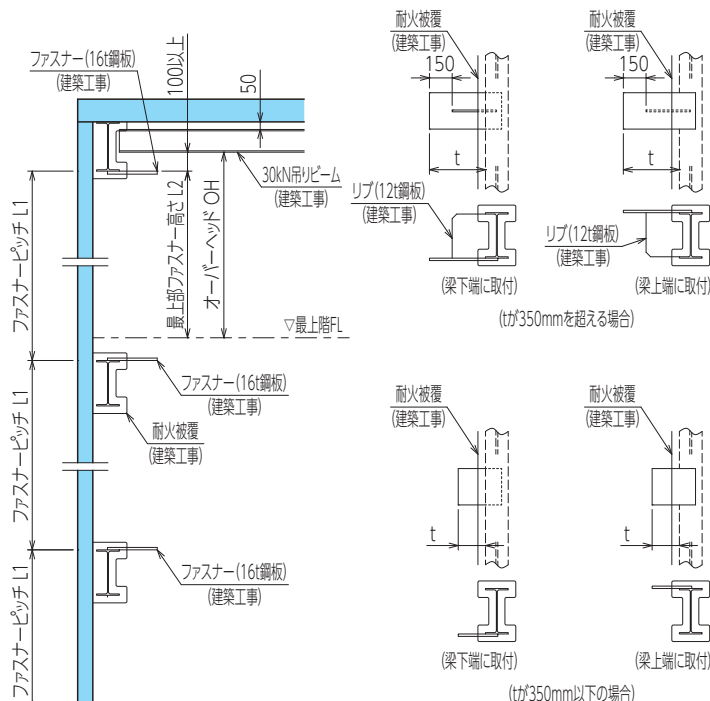
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

Py		Px	Py
	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2
	柱	PH1	PH2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
●	NTTモジュラージャック 引き込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:5500mm	NTTモジュラージャック 引き込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+5500mm	(別途工事)
⊕	電源引き込み位置 引き込み高さ:最下階FL-200~0mm 引出し電線長さ:3500mm	電源引き込み位置 引き込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3500mm	(電気工事)
⓪	点検用コンセント100V 引き込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引き込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)



ファスナー取付要領図

ファスナー取付詳細図

標準寸法表

(単位：mm)

型式	かご内法 A×B	出入口 有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑦		ピット深さ P 注②		a	b	c	d	e	m1	m2	n	p
				昇降行程 30m以下		標準	特殊									
P-24S-2C0-45	2000×1750	1100	3225×2340	3350	1250	1650		1295	1930	645	1630	645	1805	1205	465	405
P-24S-2C0-60																
P-24S-2C0-90																
P-24S-2C0-105																
P-24S-2C0-120																
P-26S-2C0-45	1800×2000	1100	3055×2510	3350	1250	1650		1200	1855	445	1555	860	860	860	565	505
P-26S-2C0-60																
P-26S-2C0-90																
P-26S-2C0-105																
P-26S-2C0-120																

- [注] ①昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。
また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
②以下の条件の時、ピット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。
・正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び
開閉機器点検口を設けられない場合
③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
④最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻ししてください。（建築工事）
⑤ピット下部は原則として使用できません。
⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
- ⑦クレーンを設置する場合は、上記のオーバーヘッド寸法より延長となり、別途換気設備（別途工事）が必要となる場合があります。
⑧電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑨昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げ含まず）にしてください。
また、同コンクリートの強度は21N/mm²（F c21）以上確保ください。
⑩かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や
特に高さのある機器をかご上に設置する場合は
更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑪昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり 等）によっては、昇降路内法が大きくなる場合があります。

荷重表

(単位：kN)

型式	ピット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)					ピット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)					
	R1	R2	R3	R4	R5	RC（かご側）	RW（おもり側）	PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
P-24S-2C0-45	54	46	47	47	32	156	140	12.4	8.8	12.5	6.5	1.7	1.7
P-24S-2C0-60						193	177						
P-24S-2C0-90						199	183						
P-24S-2C0-105						204	187						
P-24S-2C0-120						204	187						
P-26S-2C0-45	54	46	45	45	31	154	135	11.9	8.5	12.1	6.3	1.7	1.7
P-26S-2C0-60						190	171						
P-26S-2C0-90						196	176						
P-26S-2C0-105						201	181						
P-26S-2C0-120						201	181						

- [注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

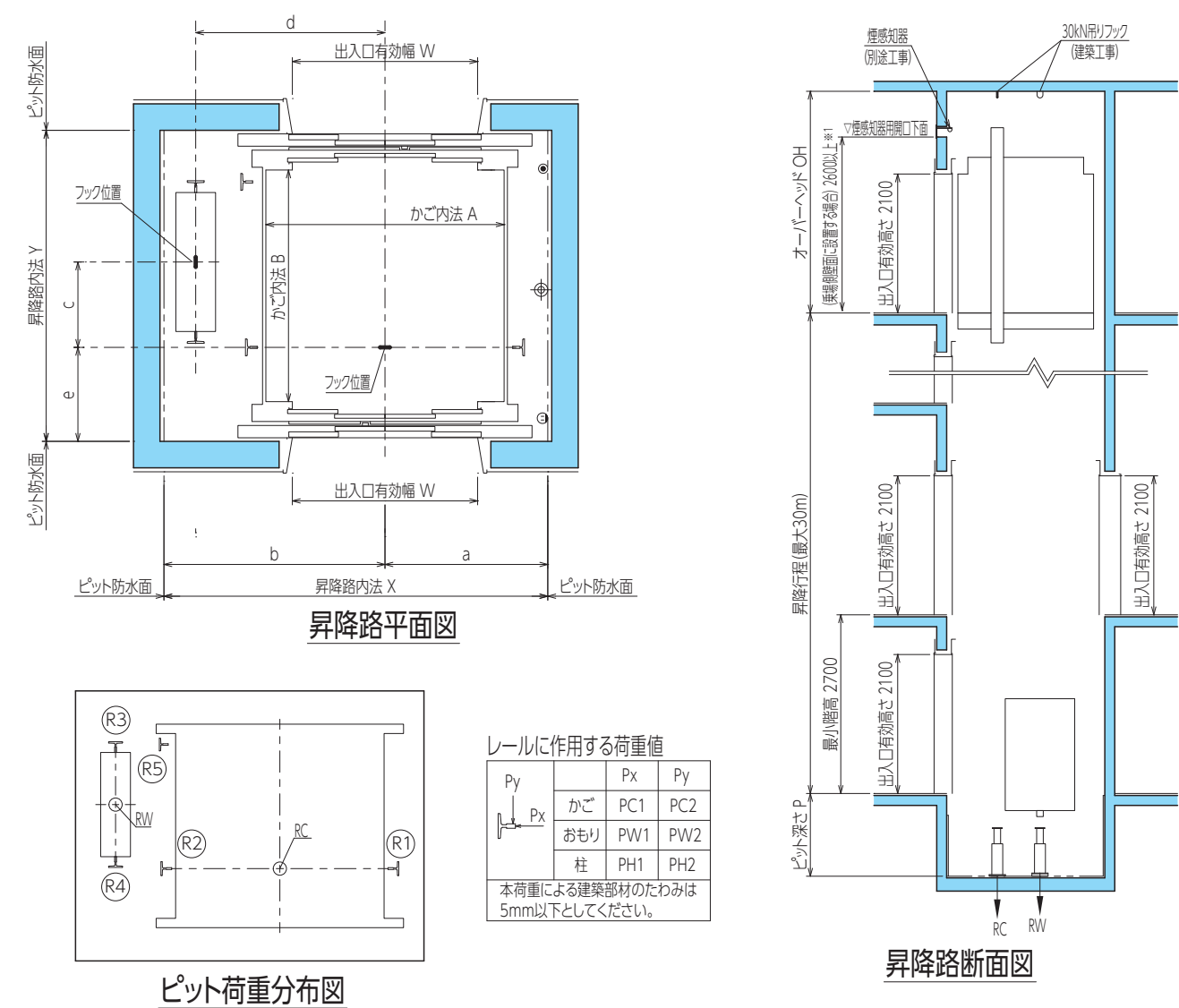
ファスナー取付寸法表

(単位：mm)

型式	ファスナーピッチ (L1)	最上階ファスナー高さ (L2)	
		昇降行程 30m以下	
P-24S-2C0-45	3950以下	2815～3025	
P-24S-2C0-60		2915～3125	
P-24S-2C0-90		3015～3225	
P-24S-2C0-105		3015～3225	
P-24S-2C0-120		3015～3225	
P-26S-2C0-45	3850以下	2815～3025	
P-26S-2C0-60		2915～3125	
P-26S-2C0-90		3015～3225	
P-26S-2C0-105		3015～3225	
P-26S-2C0-120		3015～3225	

- [注] ①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要になります。
②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）

2-5 昇降路がRC造の場合の寸法例（積載1000kg超）
【ドア開閉方式：4枚両引きの場合】



標準寸法表 (単位：mm)

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑦	ビット深さ P 注②		a	b	c	d	e
				昇降行程 30m以下	標準	特殊					
P-24S-4CO-45	2000×1750	1400	3100×2350	3350	1250	1650	1280	1820	645	1630	710
P-24S-4CO-60				3450	1400	1800					
P-24S-4CO-90				3550	1550	1950					
P-24S-4CO-105					1400	1800					
P-24S-4CO-120					1400	1800					
P-30S-4CO-45	2000×2050	1400	3125×2650	3350	1250	1650	1280	1845	445	1165	1010
P-30S-4CO-60				3450	1400	1800					
P-30S-4CO-90				3550	1550	1950					
P-30S-4CO-105					1400	1800					
P-30S-4CO-120					1400	1800					
P-30W-4CO-45	2350×1750	1800	3520×2420	3350	1250	1650	2020	1500	645	1830	710
P-30W-4CO-60				3450	1400	1800					
P-30W-4CO-90				3550	1550	1950					
P-30W-4CO-105					1400	1800					
P-30W-4CO-120					1400	1800					
P-38S-4CO-45	2350×2100	1800	3545×2700	3350	1250	1650	2050	1495	445	1860	980
P-38S-4CO-60				3450	1400	1800					
P-38S-4CO-90				3550	1550	1950					
P-38S-4CO-105					1400	1800					
P-38S-4CO-120					1400	1800					

[注] ①昇降路内法はビット防水仕上後の有効寸法です。
また、ビット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
②以下の条件の時、ビット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。
・正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び
開閉機器点検口を設けられない場合
③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
④最大ビット寸法は2000mmです。
最大ビット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
⑤ビット下部は原則として使用できません。
⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑦クレーを設置する場合は、上記のオーバーヘッド寸法より延長となり、
別途換気設備（別途工事）が必要となる場合があります。
⑧電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑨昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上を含みます）にしてください。
また、同コンクリートの強度は21N/mm²（F_c21）以上確保ください。
⑩かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や
特に高さのある機器をかご上に設置する場合は
更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑪昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり 等）によっては、
昇降路内法が大きくなる場合があります。

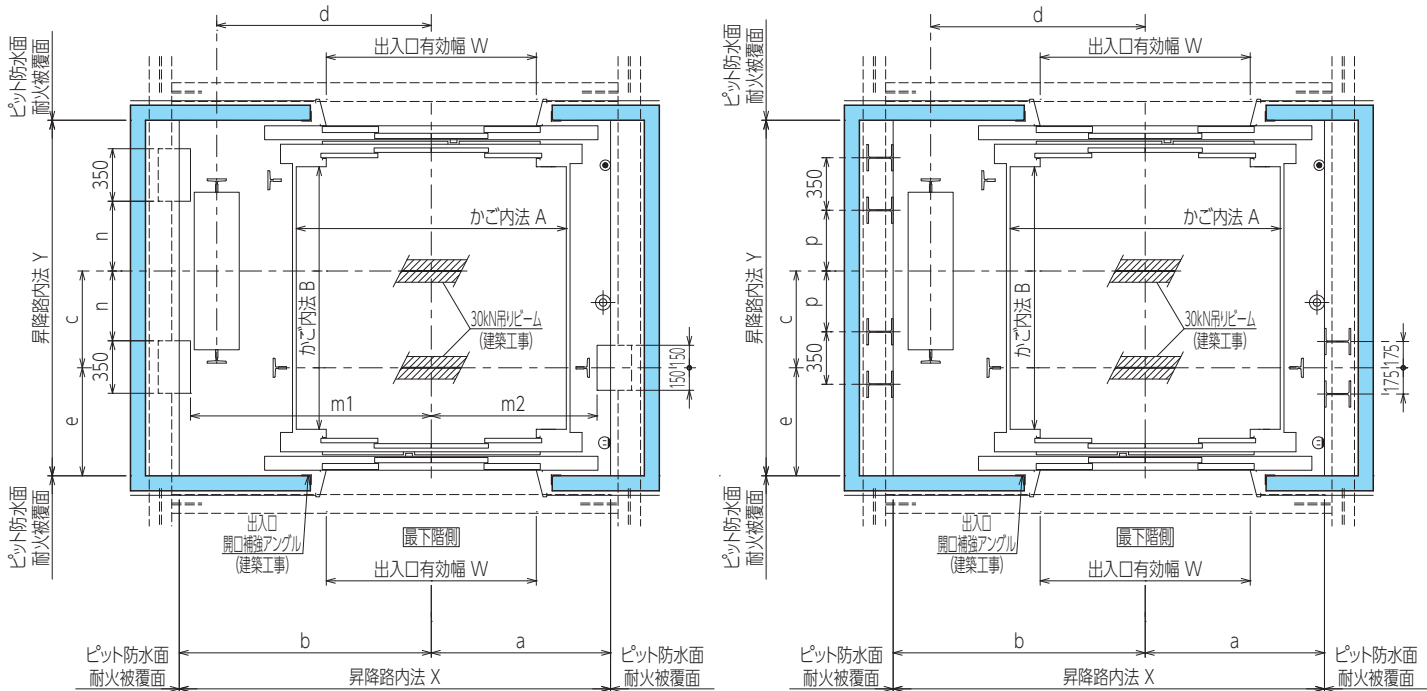
荷重表 (単位：kN)

型式	ビット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)					ビット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)					
	R1	R2	R3	R4	R5	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
P-24S-4CO-45	54	46	47	47	32	157	140	12.4	8.8	12.6	6.5	1.7	1.7
P-24S-4CO-60						194	177						
P-24S-4CO-90						200	183						
P-24S-4CO-105						204	187						
P-24S-4CO-120						204	187						
P-30S-4CO-45	56	47	46	46	32	162	138	11.8	8.6	12.3	6.4	1.7	1.7
P-30S-4CO-60						200	174						
P-30S-4CO-90						206	180						
P-30S-4CO-105						211	184						
P-30S-4CO-120						211	184						
P-30W-4CO-45	60	50	50	50	31	177	156	13.3	9.7	13.8	7.2	1.7	1.7
P-30W-4CO-60						219	196						
P-30W-4CO-90						226	203						
P-30W-4CO-105						231	208						
P-30W-4CO-120						231	208						
P-38S-4CO-45	64	53	52	52	35	193	162	13.5	10.1	14.5	7.5	1.7	1.7
P-38S-4CO-60						239	205						
P-38S-4CO-90						247	212						
P-38S-4CO-105						252	217						
P-38S-4CO-120						252	217						

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

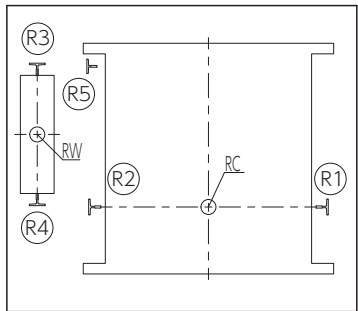
※1. 下記条件の場合は寸法が変更となりますので、当社にご相談ください。
1. 昇板付きの場合
2. 乗場側以外の壁面に設置の場合

2-6 昇降路がS造の場合の寸法例（積載1000kg超） 【ドア開閉方式：4枚両引きの場合】




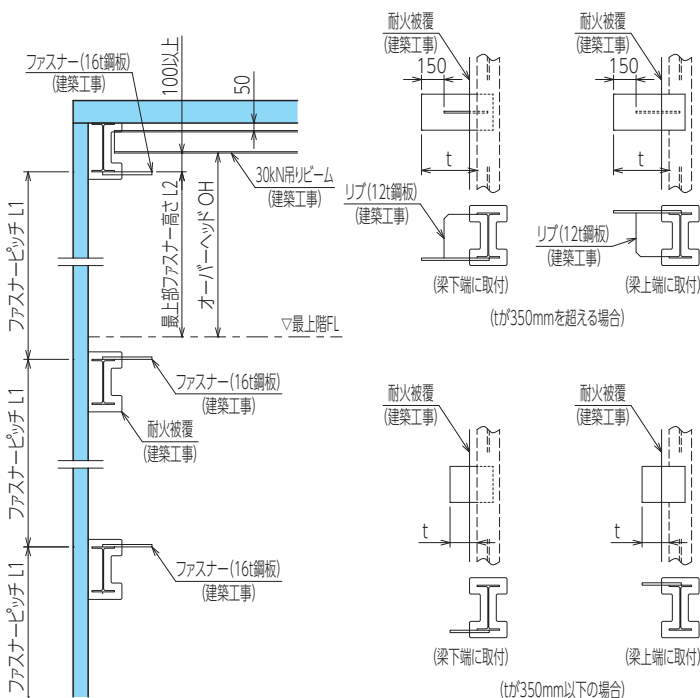
升降路平面图

(ファスナーの場合)



ピット荷重分布図

ルールに作用する荷重値			
		Px	Py
	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2
	柱	PH1	PH2
本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。			



ファスナー取付要領図

ファスナー取付詳細図

標準寸法表

型式	かご内法 A×B	出入口 有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑦	ビット深さ P 注②		a	b	c	d	e	m1	m2	n	p
				昇降行程	標準	特殊									
P-24S-4C0-45	2000×1750	1400	3225×2415				1295	1930	645	1630	715	1805	1205	465	405
P-24S-4C0-60				3350	1250	1650									
P-24S-4C0-90				3450	1400	1800									
P-24S-4C0-105				3550	1550	1950									
P-24S-4C0-120					1400	1800									
P-30S-4C0-45	2000×2050	1400	3250×2660	3350	1250	1650	1295	1955	445	1165	1015	1830	1205	565	505
P-30S-4C0-60				3450	1400	1800									
P-30S-4C0-105					1550	1950									
P-30S-4C0-120				3550	1400	1800									
P-30W-4C0-45				3350	1250	1650									
P-30W-4C0-60	2350×1750	1800	3630×2430				1500	2130	645	1830	715	2005	1380	465	405
P-30W-4C0-90				3450	1400	1800									
P-30W-4C0-105				3550	1550	1950									
P-30W-4C0-120					1400	1800									
P-38S-4C0-45				3350	1250	1650									
P-38S-4C0-60	2350×2100	1800	3655×2710				1495	2160	445	1860	985	2035	1380	565	565
P-38S-4C0-90				3450	1400	1800									
P-38S-4C0-105					1550	1950									
P-38S-4C0-120				3550	1400	1800									

[注] ①昇降路内法はビッド防水仕上後の有効寸法です。
また、ビッド部の防水厚さは25mm以下にしてください。
②以下の条件の時、ビッド深さは「特殊」に調整している寸法を確保ください。
・正面側または背面側の乗降ドアが最下段のみ及び
開閉機接続点線口を設けられない場合
③昇降路内法寸法が特に入力される場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
④最大ビッド寸法は2000mmです。
最大ビッド寸法を超える時は変更してください。（建築工事）
⑤ビッド下部は原則として使用できません。
⑥昇降機配電設計・施工指針（2016年度版）参照クラスA14が基本仕様です。
前掲クラスS14をご用命の場合は、当社に相談ください。

⑦ クラウを設置する場合は、上記のオーバーヘッド寸法より延長となり、別途換気設備（別途工事）が必要となる場合があります。

⑧ 電源線引出位置の脱着は±40mm以内としてください。

⑨ 幹路のコンクリート厚壁は150mm以上（仕上を含みます）にしてください。また、コンクリートの強度は21N/mm²（F_{C21}）以上確保ください。

⑩ かの仕様に特に大きな重量が大きい場合や特に高さのある機器をかごに設置する場合は更にオーバーヘッド寸法が必要となります。

⑪ 幹路の状況（隣接壁あり等）によって、昇降路内法か外法かことがあります。

荷重表

型式	ビット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)					ビット部縦衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)					
	R1	R2	R3	R4	R5	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2	PH1	PH2
P-24S-4CO-45	54	46	47	47	32	157	140	12.4	8.8	12.6	6.5	1.7	1.7
P-24S-4CO-60						194	177						
P-24S-4CO-90						200	183						
P-24S-4CO-105						204	187						
P-24S-4CO-120						204	187						
P-30S-4CO-45	56	47	46	46	32	162	138	11.8	8.6	12.3	6.4	1.7	1.7
P-30S-4CO-60						200	174						
P-30S-4CO-90						206	180						
P-30S-4CO-105						211	184						
P-30S-4CO-120						211	184						
P-30W-4CO-45	60	50	50	50	31	177	156	13.3	9.7	13.8	7.2	1.7	1.7
P-30W-4CO-60						219	196						
P-30W-4CO-90						226	203						
P-30W-4CO-105						231	208						
P-30W-4CO-120						231	208						
P-38S-4CO-45	64	53	52	52	35	193	162	13.5	10.1	14.5	7.5	1.7	1.7
P-38S-4CO-60						239	205						
P-38S-4CO-90						247	212						
P-38S-4CO-105						252	217						
P-38S-4CO-120						252	217						

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

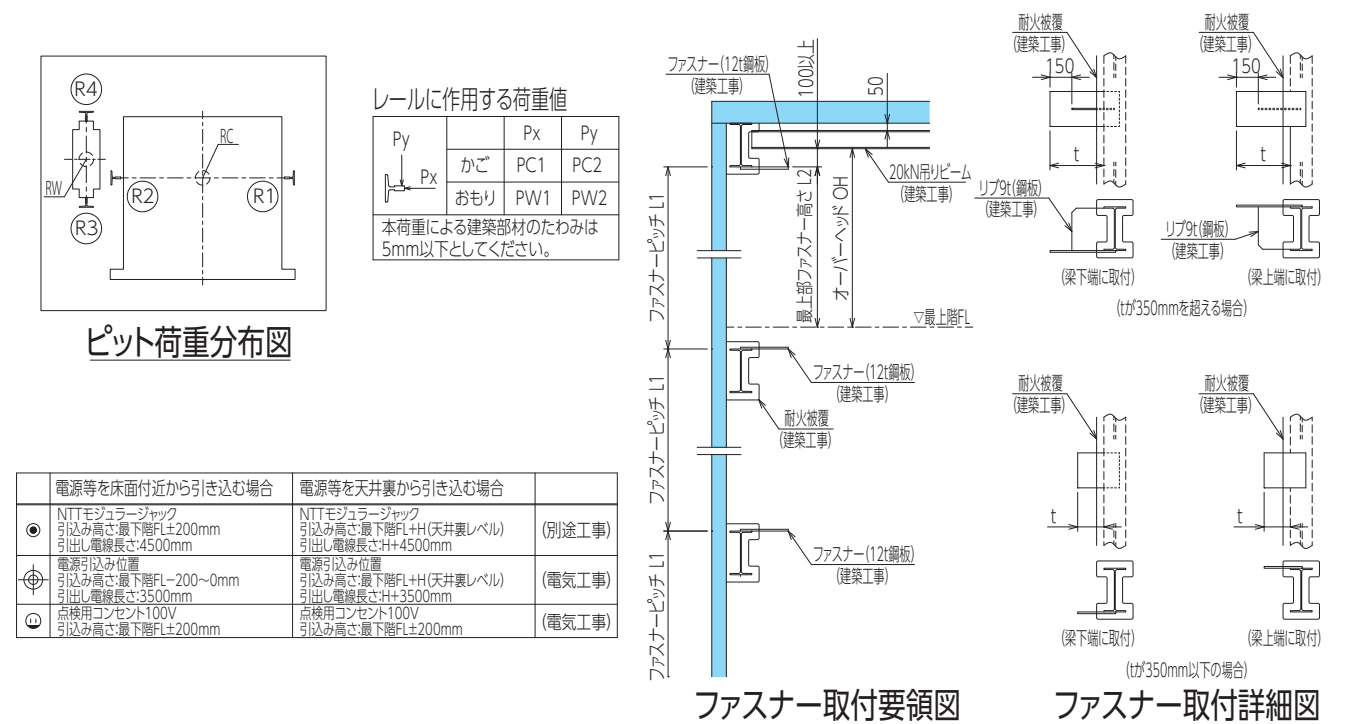
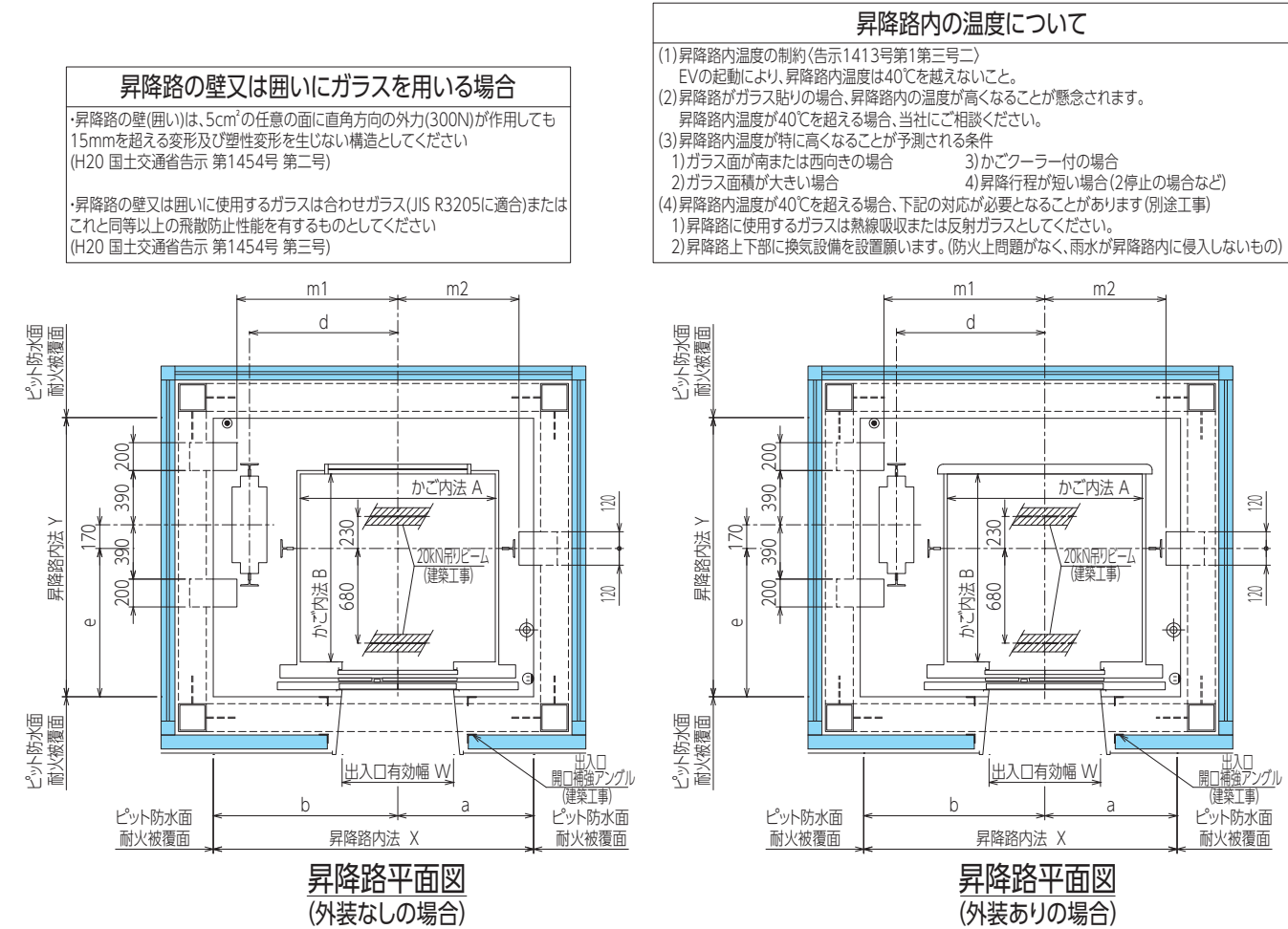
ファスナー取付寸法表 (単位: mm)

型式	ファスナーピッチ (L1)	最上階ファスナー高さ (L2)
		昇降行程
		30m以下
P-24S-4C0-45	3950以下	2815~3025
P-24S-4C0-60		
P-24S-4C0-90		
P-24S-4C0-105		
P-24S-4C0-120	3700以下	3015~3225
P-30S-4C0-45		2815~3025
P-30S-4C0-60		
P-30S-4C0-90		2915~3125
P-30S-4C0-105		3015~3225
P-30S-4C0-120		
P-30W-4C0-45	3700以下	2815~3025
P-30W-4C0-60		2915~3125
P-30W-4C0-90		
P-30W-4C0-105		3015~3225
P-30W-4C0-120		
P-38S-4C0-45	3600以下	2815~3025
P-38S-4C0-60		2915~3125
P-38S-4C0-90		
P-38S-4C0-105		3015~3225
P-38S-4C0-120		

【注】①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要になります。
②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)

Ⅱ－3 計画編（展望用）

3－1 展望用の寸法例（積載1000kg以下）



レールに作用する荷重値			
Py	Px	Py	
	かご	おもり	
	PC1	PW1	PC2
	PW2		
本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。			

電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
● NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL±200mm 引き出し電線長さ: 4500mm	NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引き出し電線長さ: H+4500mm	(別途工事)
⊕ 電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL-200~0mm 引き出し電線長さ: 3500mm	電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引き出し電線長さ: H+3500mm	(電気工事)
ⓐ 点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	(電気工事)

標準寸法表

標準寸法表

(単位: mm)

型式	かご内法 A×B	出入口 有効幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッド OH 注⑥			ビット深さ P	a	b	d	e	m1	m2
				昇降行程									
				30m以下	45m以下	60m以下							
P-11-2C0-45	1400×1350	800	2200×2000	3000	3050	3150	1250	950	1250	1065	1065	870	1155
P-11-2C0-60				3350	3400	3500							
P-11-2C0-90				3450	3500	3600							
P-11-2C0-105				3450	3500	3600							
P-13-2C0-45	1600×1350	900	2450×2000	3000	3050	3150	1250	1050	1400	1165	1065	970	1255
P-13-2C0-60				3350	3400	3500							
P-13-2C0-90				3450	3500	3600							
P-13-2C0-105				3450	3500	3600							
P-15-2C0-45	1600×1500	900	2450×2150	3000	3050	3150	1250	1050	1400	1165	1135	970	1255
P-15-2C0-60				3350	3400	3500							
P-15-2C0-90				3450	3500	3600							
P-15-2C0-105				3450	3500	3600							

[注] ①昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
②ビット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
③最大ビット寸法は2000mmです。
最大ビット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
④ビット下部は原則として使用できません。
⑤昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑥クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッド寸法より延長となり、別途換気設備（別途工事）が必要となる場合があります。
⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。
また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
⑩外装の形状により、上記のオーバーヘッド寸法より拡大となる場合があります。

荷重表

型式	ビット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ビット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
P-11-2C0-45	34	40	46	19	67	60	4.5	4.0	5.6	2.9
P-11-2C0-60					83	76				
P-11-2C0-90					85	78				
P-11-2C0-105					87	80				
P-13-2C0-45	36	42	48	20	75	66	4.9	4.4	6.1	3.2
P-13-2C0-60					93	83				
P-13-2C0-90					96	86				
P-13-2C0-105					98	88				
P-15-2C0-45	38	44	48	21	80	69	5.1	4.6	6.4	3.3
P-15-2C0-60					99	87				
P-15-2C0-90					102	90				
P-15-2C0-105					104	92				

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

ファスナー取付寸法表

型式	ファスナーピッチ (L1)	最上階ファスナー高さ (L2)		
		昇降行程		
		30m以下	45m以下	60m以下
P-11-2C0-45	3350以下	2750~2900	2800~2950	2850~3000
P-11-2C0-60		3100~3250	3150~3300	3200~3350
P-11-2C0-90		3200~3350	3250~3400	3300~3450
P-11-2C0-105		3200~3350	3250~3400	3300~3450
P-13-2C0-45	3250以下	2750~2900	2800~2950	2850~3000
P-13-2C0-60		3100~3250	3150~3300	3200~3350
P-13-2C0-90		3200~3350	3250~3400	3300~3450
P-13-2C0-105		3200~3350	3250~3400	3300~3450
P-15-2C0-45	3250以下	2750~2900	2800~2950	2850~3000
P-15-2C0-60		3100~3250	3150~3300	3200~3350
P-15-2C0-90		3200~3350	3250~3400	3300~3450
P-15-2C0-105		3200~3350	3250~3400	3300~3450

[注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)

3-2 展望用の寸法例（積載1000kg超）

